

2019年度
春学期入学
大学院入学試験要項

2019
CHUKYO UNIVERSITY

* 2019年度学内特別選抜の入学試験要項は別の冊子となります。

* 2019年度秋学期入学の入学試験要項は別の冊子となります（国際英語学研究科及び経済学研究科経済学専攻のみ実施）。

CONTENTS

研究科共通ページ〈出願者全員が確認してください〉	
1. 中京大学大学院入学者受入の方針 1ページ	5. 受験票の受け取り 7ページ
2. 入学定員と試験区分（選抜方式）一覧 4ページ	6. 試験当日の注意事項（持ち物含む） 8ページ
3. 2019年度春学期入学試験日程一覧 5ページ	7. 合格発表（可否通知発送） 8ページ
4. 出願について 7ページ	8. 入学手続 8ページ
（1）出願方法 7ページ	9. 学費等 9ページ
（2）検定料 7ページ	（長期履修制度について） 10ページ
（3）修学及び受験に際して 特別な配慮を要する方へ 7ページ	10. 個人情報の取り扱いについて 10ページ
	11. キャンパスマップ（集合場所） 11ページ

各研究科ページ〈出願する研究科のページを確認してください〉			
研究科	専攻	課程	設置キャンパス
文学	日本文学・日本語文化	博士前期（修士）・博士後期	名古屋
	歴史文化	修士	
国際英語学	国際英語学	修士	名古屋
	英米文化学	修士	
心理学	実験・応用心理学	博士前期（修士）・博士後期	名古屋
	臨床・発達心理学	博士前期（修士）・博士後期	
社会学	社会学	博士前期（修士）・博士後期	豊田
法学	法律学	博士前期（修士）・博士後期	名古屋
経済学	経済学	博士前期（修士）・博士後期	名古屋
	総合政策学	博士前期（修士）・博士後期	
経営学	経営学	博士前期（修士）・博士後期	名古屋
工学	機械システム工学	修士	名古屋
	電気電子工学	修士	
	情報工学	修士	豊田
	工学（機械システム工学領域）	博士後期	名古屋
	工学（電気電子工学領域）	博士後期	
工学（情報工学領域）	博士後期	豊田	
体育学	体育学	博士前期（修士）・博士後期	豊田

〈主な掲載内容〉

- ・入学定員と試験区分（選抜方式）
- ・出願資格
- ・入試日程一覧
- ・選抜方法
- ・試験科目・時間等
- ・試験当日集合場所・時間
- ・出願書類
- ・教員組織

●巻末書類〈出願書類所定用紙〉

- 身元保証書〈外国人留学生のみ〉
- 志願書〈研究科別、一部専攻別〉
- 研究計画書表紙〈経営学研究科博士後期課程志願者のみ〉

●同封書類

- 受験票・写真票・検定料払込票
- 検定料払込用紙
- 宛名シール
- 出願用封筒

入学試験に関する問い合わせ先

中京大学 教学部 大学院事務課
 E-mail gs-office@mng.chukyo-u.ac.jp
 名古屋キャンパス
 〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2
 TEL：(052) 835-9863
 豊田キャンパス
 〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101
 TEL：(0565) 46-6141

目次

研究科共通

文学

国際英語学

心理学

社会学

法学

経済学

経営学

工学

体育学

巻末書類

1. 中京大学大学院入学者受入の方針

文学研究科 日本文学・日本語文化専攻／歴史文化専攻

■日本文学・日本語文化専攻

博士前期（修士）課程

本課程は、批判的精神と犀利な問題意識をもって、日本文学や日本語文化の研究を志し、以下の要件を備えた学生を受け入れる。

- 現代の人間社会が直面する課題について、広く関心を有している。
- 闊達な議論を経ることによってみずから成長させてゆく自覚と、そのためのコミュニケーション能力を有している。
- 研究に関する明確なテーマと計画を有し、研究しようとする事象について、日本文学や日本語文化の中に位置づけながら研究意義を説明できる。
- 研究しようとする時代や分野を中心に、日本文学や日本語文化の全体に及ぶ基本的知識を有している。
- 文学や言語関係資料を読み解くことを喜びとし、それを文学や言語の研究に活用するための基本的な技能と知識を有している。
- 日本文学や日本語文化に関する専門知識を活かして社会に貢献する意欲を有している。

博士後期課程

本課程は、以下の要件を備えた学生を受け入れる。

- 博士前期課程において日本文学や日本語文化についての高度な学識や問題処理能力を修得していること。
- 学術研究者、教育者または高度専門実務家として活躍するために、自ら設定する課題について研究活動を遂行する意欲と能力を有していること。

■歴史文化専攻 修士課程

本課程は、文献史学又は民俗学の方法を用いて、日本の歴史文化研究を志し、以下の要件を備えた学生を受け入れる。

- 現代の人間社会が直面する課題について、広く関心を有している。
- 闊達な議論を経ることによってみずから成長させてゆく自覚と、そのためのコミュニケーション能力を有している。
- 研究に関する明確なテーマと計画を有し、研究しようとする事象について、日本の歴史文化の中に位置づけながら研究意義を説明できる。
- 研究しようとする時代や分野を中心に、日本の歴史文化全体に及ぶ基本的知識を有している。
- 歴史資料を読み解くことを喜びとし、それを歴史研究に活用するための基本的な技能と知識を有している。
- 日本の歴史文化に関する専門知識を活かして社会に貢献する意欲を有している。

国際英語学専攻 国際英語学専攻／英米文化学専攻

国際英語学専攻は、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の理念」、及び専攻科が定める教育研究上の目的（理念・目的）にある人材を育成するために、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。

■国際英語学専攻 修士課程

本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。

- 専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。
- 研究に必要なとされる十分な英語力を有していること。
- 自ら設定した研究課題について遂行する意欲を有していること。
- 文化を異にする人達と良好な人間関係を構築できること。

■英米文化学専攻 修士課程

本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。

- 社会が必要とする、国際レベルでの異文化間相互理解と交流の課題に対する明確な問題意識を有していること。
- 語学力を含めて、専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。
- 自ら設定した課題について遂行する意欲を有していること。

心理学研究科 実験・応用心理学専攻／臨床・発達心理学専攻

心理学研究科は、「実験・応用心理学」と「臨床・発達心理学」の2専攻を設け、学生を募集する。「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある人材を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。

■博士前期（修士）課程

本課程では一般選抜のほか、社会人選抜を設けて入学試験を実施する。

本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。

- 現代の人間及び人間社会が直面する諸課題について、明確な問題意識を有していること。
- 専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。
- 自ら設定した課題について遂行する意欲を有していること。

■博士後期課程

本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。

- 博士前期課程において心理学についての高度な学識や問題処理能力を修得していること。
- 学術研究・教育者あるいは高度専門実務家として活躍するために、自ら設定した課題について研究活動を遂行する意欲を有していること。

社会学研究科 社会学専攻

社会学研究科は、「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある高度な専門家を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人材を広く求め、受け入れる。

■博士前期（修士）課程

- ・現代社会に生起する諸現象、諸問題を認識し、それを分析・洞察する能力を、一定の研究実績として示していること。
- ・専門教育を受けるに適した社会学及び隣接諸科学に関する基礎知識、ならびに外国語の能力を有していること。
- ・自ら設定した課題を遂行する意欲を有していること。

■博士後期課程

- ・博士前期課程において社会学及び隣接諸科学に関する高度な学識や、外国語能力を含む研究遂行のための基礎能力を有していること。
- ・学術研究・教育者あるいは高度専門実務家として活躍するための基本的資質を示すものとして、自ら設定した課題についての質の高い研究成果をあげていること。
- ・自ら設定した課題について高い水準の研究活動を遂行する意欲を有していること。

法学研究科 法律学専攻

法学研究科は、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の理念」、そして、本研究科が定める「教育上の目的（理念、目的）」に賛同し、これまで培ってきた知識や技能を土台として、真理を探究する研究心の旺盛な且つ真摯な態度で法律学及び政治学を学び、昇華させようとする意欲的な人を広く求める。

■博士前期（修士）課程

本課程は、学部教育課程において修得した一般的教養、法律学並びに政治学の専門的知識、その他の関連する諸分野の知識、及び、外国文献の基礎的な読解力のうえに、これらによって培った鋭敏な問題意識及び問題発見能力をもって、法学及び政治学その他の関連する諸分野を研究することを志す学生を受け入れる。

■博士後期課程

本課程は、博士前期課程（修士課程）において修得した一般的教養、法律学並びに政治学の専門的知識、その他の関連する諸分野の知識、及び、外国文献の読解力のうえに、これらによって培った鋭敏な問題意識及び問題発見能力をさらに研ぎ、今後、法律学及び政治学の学問水準を高める研究業績を博士論文において示しうる学生を受け入れる。

経済学研究科 経済学専攻／総合政策学専攻

経済学研究科は、「経済学専攻」と「総合政策学専攻」の2専攻を設け、学生を募集する。「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある人材を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。

■博士前期（修士）課程

1. 本課程経済学専攻では一般選抜のほか、税理士選抜、社会人選抜、留学生選抜を設けて入学試験を実施する。
2. 本課程総合政策学専攻では一般選抜のほか、社会人選抜、留学生選抜を設けて入学試験を実施する。
3. 本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。
 - ・現代の経済社会が直面する諸課題について、明確な問題意識を有していること。
 - ・専門教育を受けるに適した学識や問題処理能力を有していること。
 - ・自ら設定した課題について遂行する意欲を有していること。

■博士後期課程

- 本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。
- ・博士前期課程において経済学又は総合政策学についての高度な学識や問題処理能力を修得していること。
 - ・学術研究・教育者あるいは高度専門実務家として活躍するために、自ら設定した課題について研究活動を遂行する意欲を有していること。

経営学研究科 経営学専攻

経営学研究科は、「研究科の人材の養成に関する目的」にある高度な専門家を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人材を広く求め、受け入れる。

■博士前期（修士）課程

- ・経営に関する諸現象、諸問題を認識し、それを分析・洞察する能力を示していること。
- ・専門教育を受けるに適した経営学及び隣接諸科学に関する基礎知識を有していること。
- ・自ら適切な研究課題を設定できる能力とそれを遂行する意欲を有していること。
- ・外国人留学生には、日本語能力試験N1レベル級、あるいはそれに準ずる日本語能力を求める。

■博士後期課程

- ・博士前期課程において経営学及び隣接諸科学に関する高度な学識や、外国語能力を含む研究遂行のための基礎能力を有していること。
- ・学術研究・教育者あるいは高度専門実務家として活躍するための基本的資質を示すものとして、自ら設定した課題についての質の高い研究成果をあげていること。
- ・自ら設定した課題について高い水準の研究活動を遂行する意欲を有していること。
- ・外国人留学生には、日本語能力試験N1レベル級、あるいはそれに準ずる日本語能力を求める。

工学研究科

機械システム工学専攻／電気電子工学専攻／情報工学専攻／工学専攻

工学研究科は、博士前期課程においては「機械システム工学専攻」「電気電子工学専攻」「情報工学専攻」の3専攻を設け、博士後期課程においては「工学専攻」を設けて学生を募集する。「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある人材を輩出するため、以下のような能力と意欲ある人を広く求め、受け入れる。

■修士課程

- 工学全般にわたる基礎知識と研究方法の基本を修得している。
- 現代の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者が果たす役割を理解している。
- 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、社会に貢献する志を有している。
- 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。
- 論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。

■博士後期課程

- 工学全般にわたる知識と、特に専攻する工学分野における専門的知識・技能を修得している。
- 現在の人間及び人間社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、工学に関わる研究者・技術者としてその解決に向けた計画を立案している。
- 自ら設定した課題について、自立して研究活動を遂行する意欲を有している。
- 研究者としての倫理観と責任感を備え、社会に貢献する志を有している。
- 新技術等を提案・発表するために必要な論理的な文章力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。
- グローバルな視点での情報収集と発信に不可欠な英語運用能力を有している。

体育学研究科

体育学専攻

体育学研究科は、「教育研究上の目的（人材養成の目的）」にある人材を輩出するため、以下のような方針で広く学生を募集し受け入れる。

■博士前期（修士）課程

1. 本課程では一般選抜のほか、社会人選抜と外国人留学生選抜を設けて入学試験を実施する。
2. 本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。
 - 体育学・健康科学の領域における基礎的な知識を有し、さらなる専門知識を修得する意欲を有していること。
 - 体育学・健康科学研究の専門職を目指す者については、特に高度な学術研究を遂行するための研究能力を修得する意欲を有していること。
 - スポーツ指導者を目指す者については、特に高度な技術と指導力を修得する意欲を有していること。

■博士後期課程

本課程は2か年の博士前期課程（修士課程）の上に3か年の博士後期課程を乗せるという積み上げ方式をとり、国外を含む他大学大学院の修士課程修了者を積極的に受け入れる方針を取っている。

1. 本課程では一般選抜のほか、外国人留学生選抜を設けて入学試験を実施する。
2. 本課程では以下の能力と態度を有する者を受け入れる。
 - 博士前期課程において体育学についての高度な学識や問題処理能力を修得していること。
 - 学術研究者・教育者あるいは高度な技術と専門知識を有するスポーツ指導者として活躍するために、独創性と論理性を備えた研究を遂行し、学術的あるいは教育的に意義のある研究論文を執筆する基礎的能力と意欲を有していること。

2. 入学定員と試験区分（選抜方式）一覧

研究科	専攻	課程	入学定員	試験区分（選抜方式）				
				一般選抜	社会人選抜	留学生選抜	税理士選抜	学内特別選抜
文学	日本文学・日本語文化	博士前期（修士）	5名	○	○	○	—	○
		博士後期	2名	○	—	—	—	—
	歴史文化	修士	3名	○	○	○	—	○
国際英語学*	国際英語学	修士	5名*	○	—	—	—	—
	英米文化学	修士	3名*	○	—	—	—	—
心理学	実験・応用心理学	博士前期（修士）	5名	○	○	—	—	—
		博士後期	2名	○	—	—	—	—
	臨床・発達心理学	博士前期（修士）	15名	○	○	—	—	—
		博士後期	2名	○	—	—	—	—
社会学	社会学	博士前期（修士）	5名	○	—	○	—	—
		博士後期	2名	○	—	○	—	—
法学	法律学	博士前期（修士）	10名	○	○	○	—	○
		博士後期	3名	○	—	○	—	—
経済学	経済学*	博士前期（修士）	5名*	○	○	○	○	○
		博士後期	2名*	○	—	—	—	—
	総合政策学	博士前期（修士）	5名	○	○	○	—	○
		博士後期	2名	○	—	—	—	—
経営学	経営学	博士前期（修士）	10名	○	○	—	—	○
		博士後期	3名	○	—	—	—	—
工学	機械システム工学	修士	7名	○	—	—	—	○
	電気電子工学	修士	7名	○	—	—	—	○
	情報工学	修士	8名	○	—	—	—	○
	工学 〈2019年4月開設〉	博士後期	4名	○	○	—	—	○
体育学	体育学	博士前期（修士）	12名	○	○	○	—	—
		博士後期	4名	○	—	○	—	—

*国際英語学研究科及び経済学研究科経済学専攻のみ、2019年度秋学期入学試験を実施します。表中の定員は2019年度秋学期入学試験の定員との合算人数です。

3. 2019年度春学期入学試験日程一覧

博士前期（修士）課程

	研究科	試験区分	出願期間 (最終日消印有効)	試験日	可否通知 発送日	第一次入学 手続期間	最終入学 手続期間	入学辞退 手続締切日
前期日程	経済学 (経済学専攻のみ)	一般/社会人/ 留学生/税理士/ 学内特別	2018年 6月11日(月) } 6月22日(金)	7月7日(土)	7月18日(水)	7月18日(水) } 7月31日(火)	2019年 3月1日(金) } 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	文学	一般/社会人/ 留学生/学内特別	2018年 8月27日(月) } 9月7日(金)	9月29日(土)	10月9日(火)	10月9日(火) } 10月16日(火)		
	国際英語学	一般						
	心理学	一般/社会人	2018年 8月20日(月) } 8月24日(金)	9月7日(金) 8日(土)	9月19日(水)	9月19日(水) } 9月26日(水)		
	社会学	一般/留学生	2018年 8月27日(月) } 9月7日(金)	9月29日(土)	10月9日(火)	10月9日(火) } 10月16日(火)		
	法学	一般/社会人/ 留学生/学内特別	2018年 8月20日(月) } 8月29日(水)	9月13日(木)	9月26日(水)	9月26日(水) } 10月3日(水)		
	経済学 (総合政策学専攻のみ)	一般/社会人/ 留学生/学内特別	2018年 8月27日(月) } 9月7日(金)	9月29日(土)	10月9日(火)	10月9日(火) } 10月16日(火)		
	経営学	一般/社会人/ 学内特別						
	工学	一般/学内特別	2018年 6月4日(月) } 6月15日(金)	6月29日(金) 30日(土)	7月13日(金)	7月13日(金) } 7月31日(火)		
	体育学	一般/社会人/ 留学生	2018年 8月27日(月) } 9月7日(金)	9月29日(土)	10月5日(金)	10月5日(金) } 10月16日(火)		
後期日程	文学	一般/社会人/ 留学生/学内特別	2019年 1月28日(月) } 2月8日(金)	2月23日(土)	3月5日(火)	2019年 合格発表日 } 3月13日(水) ※二段階納入方式ではありません		
	国際英語学	一般						
	心理学	一般	2019年 1月7日(月) } 1月16日(水)	2月1日(金) 2日(土)	2月13日(水)			
	社会学	一般/留学生		2月9日(土)	2月19日(火)			
	法学	一般/社会人/ 留学生/学内特別	2019年 1月21日(月) } 2月1日(金)	2月15日(金)	2月26日(火)			
	経済学 (経済学専攻のみ)	一般/社会人/ 留学生/税理士/ 学内特別	2019年 1月28日(月) } 2月8日(金)	2月23日(土)	3月5日(火)			
	経済学 (総合政策学専攻のみ)	一般/社会人/ 留学生/学内特別						
	経営学	一般/社会人/ 学内特別						
	工学	一般/学内特別	2019年 1月21日(月) } 2月1日(金)	2月15日(金) 16日(土)	2月26日(火)			
	体育学	一般/社会人/ 留学生		2月16日(土)	2月22日(金)			

外国人の方及び外国在住日本人の方で日本国外から出願される場合は、出願期間以前の受付も可能です。事前に教学部大学院事務課にご相談ください。

国際英語学研究科及び経済学研究科経済学専攻のみ、2019年度秋学期入学試験を実施します。2019年度秋学期入学試験要項は2019年4月に本学公式ホームページ上で公表します。

博士後期課程

	研究科	試験区分	出願期間 (最終日消印有効)	試験日	可否通知 発送日	第一次入学 手続期間	最終入学 手続期間	入学辞退 手続締切日
前期日程	工学	一般/社会人/ 学内特別	2018年 6月4日(月) ┆ 6月15日(金)	6月30日(土)	7月13日(金)	7月13日(金) ┆ 7月31日(火)	2019年 3月1日(金) ┆ 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	体育学	一般/留学生	2018年 8月27日(月) ┆ 9月7日(金)	9月29日(土)	10月5日(金)	10月5日(金) ┆ 10月16日(火)		
後期日程	文学	一般	2019年 1月28日(月) ┆ 2月8日(金)	2月23日(土)	3月5日(火)	2019年 合格発表日 ┆ 3月13日(水) ※二段階納入方式ではありません		
	心理学	一般	2019年 1月7日(月) ┆ 1月16日(水)	2月1日(金) 2日(土)	2月13日(水)			
	社会学	一般/留学生	1月16日(水)	2月9日(土)	2月19日(火)			
	法学	一般/留学生	2019年 1月21日(月) ┆ 2月1日(金)	2月15日(金)	2月26日(火)			
	経済学 (経済学専攻のみ)	一般	2019年 1月28日(月) ┆ 2月8日(金)	2月23日(土)	3月5日(火)			
	経済学 (総合政策学専攻のみ)	一般						
	経営学	一般						
	工学	一般/社会人/ 学内特別	2019年 1月21日(月) ┆ 2月1日(金)	2月16日(土)	2月26日(火)			
体育学	一般/留学生	2月1日(金)	2月22日(金)					

外国人の方及び外国在住日本人の方で日本国外から出願される場合は、出願期間以前の受付も可能です。事前に教学部大学院事務課にご相談ください。

経済学研究科経済学専攻のみ、2019年度秋学期入学試験を実施します。2019年度秋学期入学試験要項は2019年4月に本学公式ホームページ上で公表します。

4. 出願について

(1) 出願方法

【郵送・窓口持参共通事項】

- ① 所定の封筒に必要な事項を記入し、出願書類を入れてください。
- ② 論文等が大きく、所定の封筒に入らない場合は、所定の封筒の表面を切り取り、出願書類が入る大きさの任意の封筒に貼付してください。
- ③ 出願書類に不備がある場合は出願を受け付けません。

【出願書類を郵送する場合】

- ・ 出願期間最終日の消印有効とします。
- ・ 「速達の簡易書留郵便」で送付してください。
- ・ 豊田キャンパス設置研究科・専攻に出願される場合も、名古屋キャンパス教学部大学院事務課宛（所定の封筒に印刷された宛先）に送付してください。

【出願書類を大学窓口を持参する場合】

- ・ 名古屋・豊田両キャンパスの大学院事務課窓口（以下）にて出願を受け付けます。
〈大学院事務課のご案内〉
名古屋キャンパス：名古屋市昭和区八事本町101-2 14号館1階
豊田キャンパス：豊田市貝津町床立101 11号館1階
※両キャンパスとも受付時間は平日の9:00～17:00です。時間外の受付はいたしかねますのでご注意ください。

(2) 検定料

- ① 入学検定料（35,000円）は同封の検定料払込用紙を用いて、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にて払い込んでください。
※本学在学生のうち《大学院進学奨励》制度で大学院進学を志望する者は、入学検定料を払い込む前に教学部大学院事務課に申し出てください。
- ② 「振替払込受付証明書（願書貼付用）」は、ゆうちょ銀行又は郵便局の日附印を確認の上、検定料払込票の所定欄に貼付してください。
- ③ 現金や為替を封入したり、他の金融機関での振込、及びATMによる振込は受け付けることができません。
- ④ 振込手数料は個人負担となります。払い込まれた入学検定料は返還いたしませんのでご了承ください。
- ⑤ 「振替払込請求書兼受領証」は大学発行の領収書とみなしますので、大切に保管してください。
- ⑥ 払込用紙裏面の収入印紙については貼付する必要はありません。
- ⑦ 入学検定料納入期間は、出願開始日の一週間前から、出願締切日までです。

(3) 修学及び受験に際して特別な配慮を要する方へ

中京大学では、障がい等により、受験及び修学に際して配慮を希望する方からの相談を随時受け付けています。なお、相談の内容によっては、出願前に志願者ご本人（及び保護者）に面談を依頼することがありますので予めご承知ください。
※この面談は、受験上及び修学上の配慮について確認するものであり、合否判定等とは一切関係ありません。出願の検討段階での相談でも構いませんので、できる限り早めに教学部大学院事務課までお申し出ください。特に、受験に際しての配慮を希望される方は、各試験の出願開始の4週間前までに必ずご連絡ください。

5. 受験票の受け取り

- ① 受験票は出願期間締切後、随時郵送します。
- ② 受験票が試験日の3日前になっても届かない場合は、教学部大学院事務課 TEL(052)835-9863へ連絡してください。
- ③ 受験票を紛失した場合や忘れた場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出て、「仮受験票発行」の手続きをとってください。

6. 試験当日の注意事項

(1) 持参するもの

- ① 受験票 ● 受験票を忘れた場合、又は出発時までには受験票が届かなかった場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出てください。
- ② 筆記用具 ● HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック消しゴム
※下敷き、定規、コンパス等の使用は認めません。
- ③ 時計 ● 試験会場（試験室）には時計がありません。
● 時計以外の機能が付いたものの使用は認めません（タイマーや大型時計の使用も認めません）。
また、携帯電話（スマートフォン含む）・PHS等を時計として使用することもできません。
- ※研究科・専攻により、辞典・辞書等の持込を許可している場合があります。詳細は各研究科ページを参照してください。

(2) 試験室への案内

- ① 試験開始30分前までに、各研究科・専攻が指定する場所に集合してください。なお、試験室への案内は、掲示・大学院入試担当係員の誘導などにより行います。
※集合場所は各研究科ページを参照してください。
※前日に試験室を下見することはできません。
- ② 試験開始10分前までに所定の試験室、座席に着くようにしてください。
- ③ 各試験会場内は禁煙とします。

(3) 遅刻について

私的な理由による遅刻については試験開始後30分まで入室を認めます。それ以降の遅刻は一切認めません。なお、時間延長等の特別措置はありません。公共交通機関の遅延によって試験に遅れる場合は、遅延証明書をお持ちください。

7. 合格発表（合否通知発送）

- ① 合否通知発送日（前述「3. 2019年度春学期入学試験日程一覧」参照）に合否通知を発送します。
- ② 合格者の入学手続書類は、合格通知書とともに郵送します。

8. 入学手続

入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して郵送します。

入学手続は「**第一次入学手続**」と「**最終入学手続**」の二段階納入方式です。詳しくは合格通知書同封の『入学手続要項』で確認してください。

※後期日程は、二段階納入方式ではなく、第一次入学手続と最終入学手続が同一期間となります。詳細は前述「3. 2019年度春学期入学試験日程一覧」を参照してください。

〈第一次入学手続〉

入学金のみ納入することで、第一次入学手続が完了となります。

※一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還できません。予めご了承ください。

〈最終入学手続〉

第一次入学手続を完了された方は、最終入学手続期間に授業料等の納入及び、入学手続書類の送付をすることで最終入学手続が完了となります。

〈入学辞退〉

最終入学手続完了後、入学辞退締切日までに「入学辞退届」を提出した場合は、入学金を除く入学時納付金（授業料等）を返還いたします。

※入学辞退締切日は前述「3. 2019年度春学期入学試験日程一覧」を参照してください。

外国人留学生のみ

外国人留学生の入学手続者は、最終入学手続完了後ただちに、中京大学国際センターまで必ず連絡してください。
中京大学国際センター TEL (052) 835-7133

心理学研究科博士前期（修士）課程入学者のみ

有職者については、入学時に人事部長又は所属長の大学院通学承諾書を提出していただきます。予めご了承ください。

9. 学費等

※この学費は2018年度入学生のもので、2019年度入学生の場合は、事情により改定することがあります。

I：文学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	※学会費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	200,000	1,000	841,000	521,000
博士後期課程	200,000	400,000	150,000	1,000	751,000	476,000

II：心理学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	220,000	30,000	890,000	545,000
博士後期課程	200,000	400,000	170,000	30,000	800,000	500,000

III：工学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
修士課程	200,000	505,000	245,000	100,000	1,050,000	625,000
博士後期課程	200,000	505,000	245,000	100,000	1,050,000	625,000

IV：体育学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	245,000	50,000	935,000	567,500
博士後期課程	200,000	400,000	200,000	50,000	850,000	525,000

V：国際英語学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	※学会費	年額計	入学時納付金
修士課程	200,000	440,000	200,000	1,000	841,000	521,000

VI：社会学・法学・経済学・経営学研究科

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	200,000	—	840,000	520,000
博士後期課程	200,000	400,000	150,000	—	750,000	475,000

【補足事項】

※下記の内容は2018年度入学生のもので、2019年度入学生の場合は、事情により改定することがあります。

- ①博士前期（修士）課程の2年次納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
※体育学研究科の2年次納付金は、授業料・教育充実費については1年次と同額ですが、実験実習費については年20,000円減額になります。
- ②博士後期課程の2年次及び3年次の納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ③「入学金」は入学時のみ納入、「授業料、教育充実費及び実験実習費」は春学期・秋学期の2回に分けて納入していただきます。ただし、入学時の春学期分については、入学時納付金に含まれます。
- ④中京大学卒業の博士前期（修士）課程入学者は、入学金20,000円、教育充実費は入学時の1年次春学期分のみ半額です（この取り扱いの詳細は、別表を参照してください）。
- ⑤本学博士前期（修士）課程から、同一の研究科の博士後期課程への進学者は、入学金を免除します。
- ⑥入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費及び実習費を徴収することがあります。
- ⑦学費等は「学則等」の改定にともない在学中に変更することがあります。
- ⑧外国人留学生は、学費のうち「授業料」について3割減免措置を、博士前期（修士）課程に対しては入学後2年間、博士後期課程に対しては入学後3年間の各期間適用いたします。
- ⑨入学辞退締切日までに入学辞退手続をした場合、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金を返金いたします。
- ⑩文学研究科・国際英語学研究科は「学会費」を春学期に納入していただきます。
- ⑪法学研究科博士前期（修士）課程社会人選抜の合格者で修学期間3・4年を選択した入学者の授業料については、標準修学期間（2年間分）の授業料を、選択した修学期間（3・4年）で納入していただきます。
- ⑫経済学研究科経済学専攻博士前期（修士）課程及び体育学研究科博士前期（修士）課程の社会人選抜の合格者で修学期間3年を選択した入学者の授業料については、標準修学期間（2年間分）の授業料を、選択した修学期間（3年）で納入していただきます。

別表

	入学金		教育充実費	
	春学期入学者	20,000円	入学時の1年次春学期	半額
秋学期入学者	20,000円	入学時の1年次秋学期	半額	

【長期履修制度について】

博士前期（修士）課程「社会人選抜」志願者対象
（法学研究科、経済学研究科経済学専攻、体育学研究科のみ）

本学大学院学則において、博士前期（修士）課程の標準修業年限は2年間と定められていますが、職業を有している等の事情により、十分な学習・研究時間が確保できない場合、経済学研究科経済学専攻及び体育学研究科は3年間、法学研究科は3年間又は4年間での計画的な教育課程の履修を可能としています。前述の研究科・専攻における社会人選抜志願者のうち、長期履修制度の適用を希望する場合には、志願書の「在学期間」欄にて申請してください。

※長期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますのでご注意ください。

※入学後に長期履修制度の適用申請はできません。また、この制度は学業不振などの理由により修了が延期となる者を救済するためのものではありません。

※いずれの在学期間を選択しても、4年を超えて在学することはできません。

※学費の納入については、上記【補足事項】の⑪・⑫を参照してください。

10. 個人情報取り扱いについて

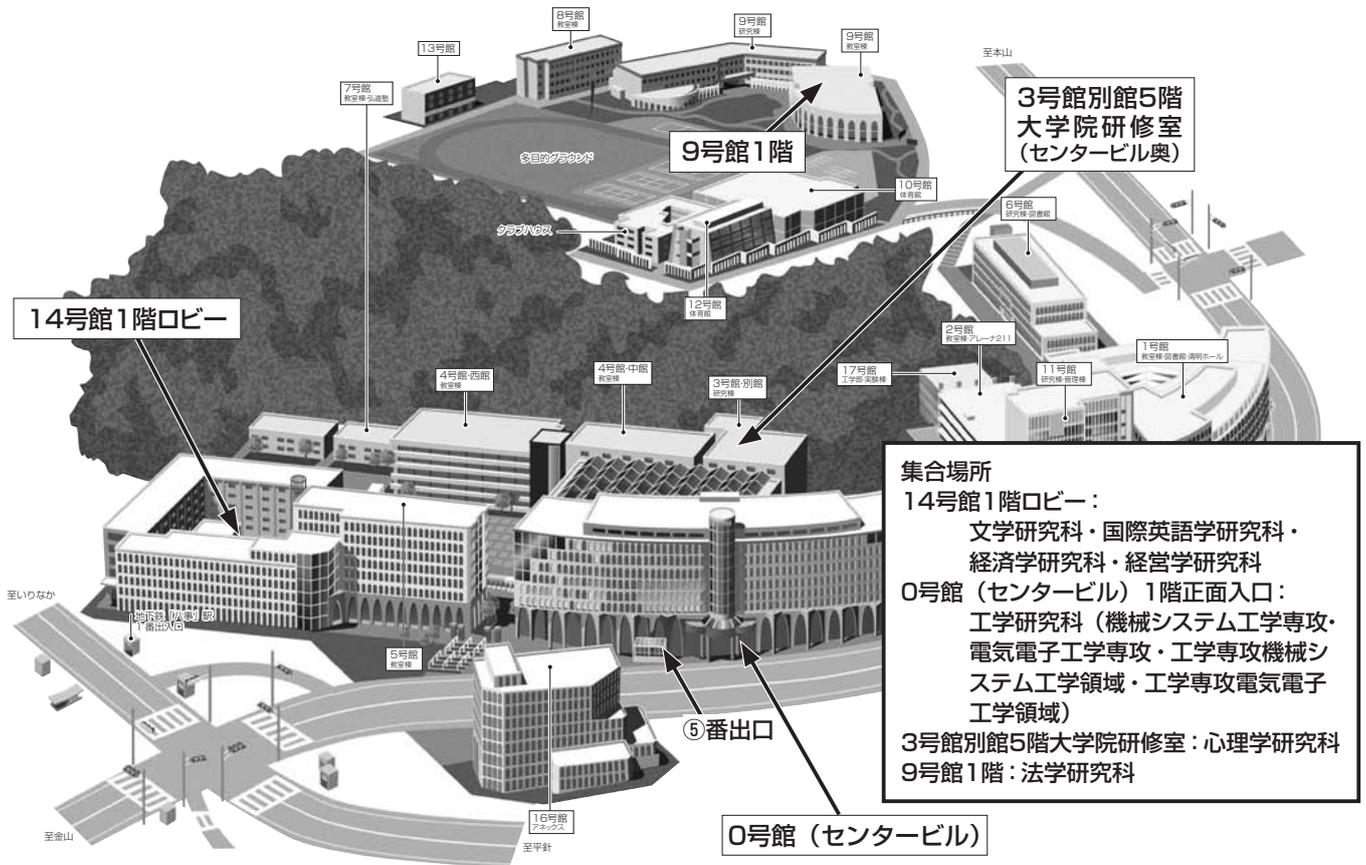
- ①志願書等に記入された住所・氏名・その他個人情報については、合否結果通知及び合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。
- ②大学が業務を委託した会社に、個人情報の全部又は一部を提供しますが、目的以外の用途に使用することはありません。予めご了承ください。

11. キャンパスマップ (集合場所)

名古屋キャンパス

〒466-8666

名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL(052)835-9863

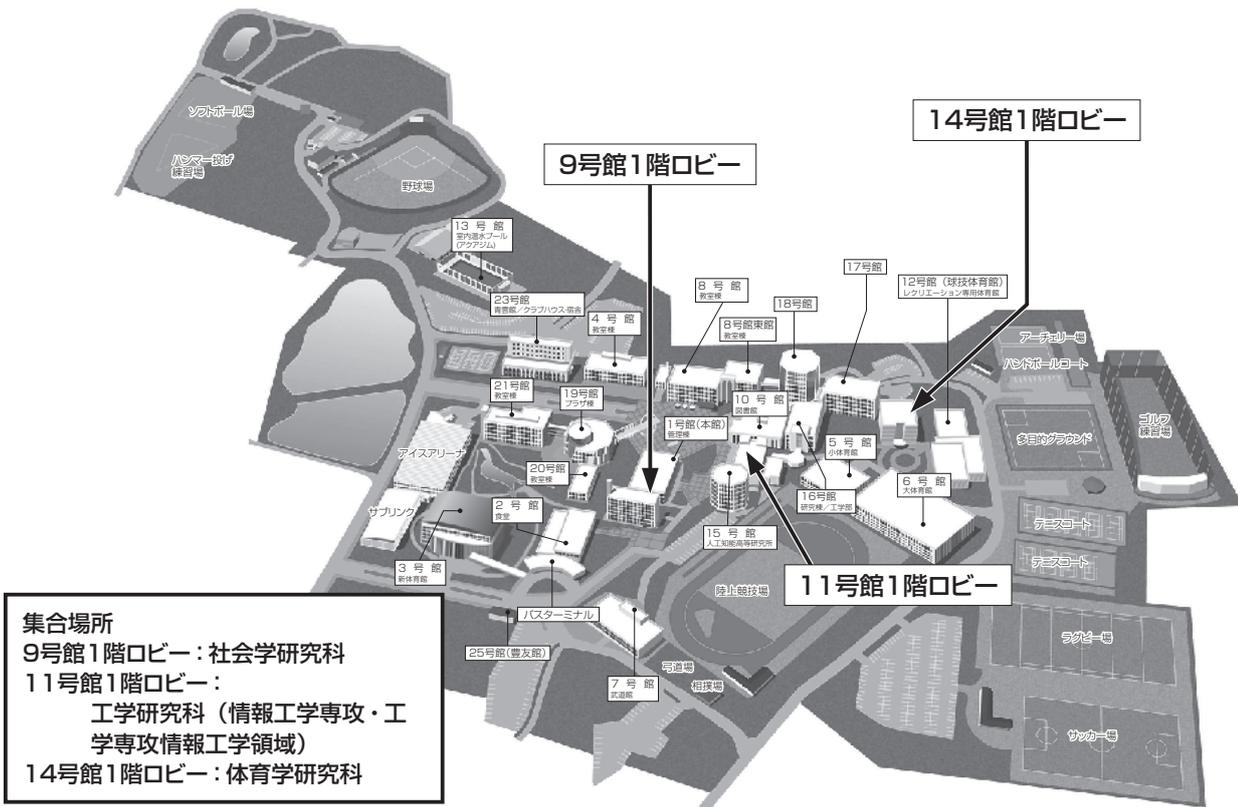


集合場所
14号館 1階ロビー:
 文学研究科・国際英語学研究科・
 経済学研究科・経営学研究科
0号館 (センタービル) 1階正面入口:
 工学研究科 (機械システム工学専攻・
 電気電子工学専攻・工学専攻機械シ
 ステム工学領域・工学専攻電気電子
 工学領域)
3号館別館5階大学院研修室: 心理学研究科
9号館 1階: 法学研究科

豊田キャンパス

〒470-0393

豊田市貝津町床立101 TEL(0565)46-6141



集合場所
9号館 1階ロビー: 社会学研究科
11号館 1階ロビー:
 工学研究科 (情報工学専攻・工
 学専攻情報工学領域)
14号館 1階ロビー: 体育学研究科

文学研究科

日本文学・日本語文化専攻
【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】
歴史文化専攻
【修士課程】

●以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

●出願書類（所定用紙）は**巻末**を確認してください。

●博士前期（修士）課程学内特別選抜については別冊子『**2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項**』（**教学部大学院事務課窓口にて配付**）を参照してください。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分*	入学定員
文学	日本文学・ 日本語文化	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生・学内特別選抜	5名
		博士後期	一般選抜	2名
	歴史文化	修士	一般・社会人・留学生・学内特別選抜	3名

※…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

学内特別選抜については別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
<p>一般選抜</p> <p>日本文学・日本語文化専攻 歴史文化専攻</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
<p>社会人選抜</p> <p>日本文学・日本語文化専攻 歴史文化専攻</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・入学時において、大学（短期大学も含む。）卒業後7年以上経過した者。なお、職歴の有無や内容は問わない。</p>
<p>留学生選抜</p> <p>日本文学・日本語文化専攻 歴史文化専攻</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者。</p>

博士後期課程

試験区分	出願資格
<p style="text-align: center;">一般選抜</p> <p style="text-align: center;">日本文学・日本語文化専攻</p>	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者</p> <p>②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者</p> <p>⑦文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※2}		試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3}	
				最終日 消印有効				消印有効	入学辞退 手続締切日 必着
前期日程	日本文学・ 日本語文化	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生	2018年 8月27日(月) ∩ 9月7日(金)	2018年 9月29日(土)	2018年 10月9日(火)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)	
	歴史文化	修士							
後期日程	日本文学・ 日本語文化	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生	2019年 1月28日(月) ∩ 2月8日(金)	2019年 2月23日(土)	2019年 3月5日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)		
	歴史文化	修士							
	日本文学・ 日本語文化	博士後期 ^{※1}	一般						

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教育学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教育学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
- 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志願にあたっては、志望する指導教員との事前面談及び出願承諾が必要となります。出願期間前に期日の余裕をもって教育学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等を調整します。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

一般選抜——①当日の試験、②出身大学の成績、③その他出願書類（研究計画の内容を重視する）によって行います。

社会人選抜——①当日の試験、②その他出願書類（研究計画の内容を重視する）によって行います。

留学生選抜——①当日の試験、②その他出願書類（研究計画の内容及び日本語能力を重視する）によって行います。

博士後期課程

一般選抜——①当日の試験、②出身大学院の成績、③修士論文等、④その他出願書類（研究計画の内容を重視する）によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
日本文学・ 日本語文化	一般	10:00 } 12:00	専門科目 ●必須科目：日本語学 ・日本語学に関する基本的な知識を問うもの。 ●選択科目：日本文学 ①上代 ②中古 ③中世 ④近世 ⑤近代 比較文学 ⑥比較文学（日中） 日本語文化 ⑦書学 ⑧出版論 日本語学 ⑨日本語史 ⑩現代日本語 ・上記①～⑩の科目の中から、専攻の1科目及びそれ以外の任意の1科目の計2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。
		13:00 } 14:00	英語 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14:30* }	口頭試問 ・研究計画を中心とする。
	社会人	10:00 } 12:00	専門科目 ●必須科目：日本語学 ・日本語学に関する基本的な知識を問うもの。 ●選択科目：日本文学 ①上代 ②中古 ③中世 ④近世 ⑤近代 比較文学 ⑥比較文学（日中） 日本語文化 ⑦書学 ⑧出版論 日本語学 ⑨日本語史 ⑩現代日本語 ・上記①～⑩の科目の中から、専攻の1科目及びそれ以外の任意の1科目の計2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。
			13:30* }

※口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
日本文学・ 日本語文化	留学生	10:00) 12:00	専門科目 ●選択科目： 日本文学 ①上代 ②中古 ③中世 ④近世 ⑤近代 比較文学 ⑥比較文学（日中） 日本語文化 ⑦書学 ⑧出版論 日本語学 ⑨日本語史 ⑩現代日本語 ・上記①～⑩の科目の中から、専攻の1科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。
		13:00) 14:00	日本文化一般
		14:30*)	口頭試問 ・研究計画を中心とする。
歴史文化	一般	10:00) 11:30	専門科目 ①古代史 ②中世史（織豊期含む） ③近世史 ④近現代史 ⑤思想史 ⑥民俗学 ・上記①～⑥の科目の中から、専攻の1科目及びそれ以外の任意の1科目の計2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。
		13:00) 14:00	「英語」又は「古文書（くずし字）読解」 ・いずれかを出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること。 ・英和辞典又はくずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14:30*)	口頭試問 ・研究計画を中心とする。
	社会人 留学生	10:00) 11:30	専門科目 ①古代史 ②中世史（織豊期含む） ③近世史 ④近現代史 ⑤思想史 ⑥民俗学 ・上記①～⑥の科目の中から、専攻の1科目及びそれ以外の任意の1科目の計2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。
		13:30*)	口頭試問 ・研究計画を中心とする。

※口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
日本文学・ 日本語文化	一般	10:00) 12:00	専門科目 ①日本文学 ②日本語文化 ③日本語学 ・上記①～③の科目の中から、1科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。
		13:00) 14:00	外国語 ①英語 ②漢文 ③資料解読 ・上記①～③の科目の中から、1科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・英語のみ英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		16:00*)	口頭試問 ・研究計画及び提出論文を中心とする。

※口頭試問の開始時刻は早まる場合がある（試験当日に通知）。

6. 試験当日集合場所・時間

名古屋キャンパス14号館1階ロビー 9:30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類（別紙等）はA4判サイズのものを出してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。
- ⑥博士前期（修士）課程の志願にあたっては、志望指導教員との事前面談及び出願承諾が必要となります。出願期間前に期日の余裕をもって教育学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等を調整します。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ①日本文学・日本語文化専攻志願者は巻末－日本文学・日本語文化・志願書を、歴史文化専攻志願者は巻末－歴史文化・志願書を使用すること。 ②博士前期（修士）課程志願者は、<u>出願前に志望指導教員に連絡をとり面談を受け、出願承諾を得ること。出願承諾が得られない場合は、出願することはできない。</u>出願承諾を得たら、志望指導教員に「志望指導教員出願承諾印」欄の記入・捺印を依頼すること。 ※志望指導教員は、後掲「教員組織」を参照のこと。 ※日本文学・日本語文化専攻学内特別選抜志願者は、面談及び承諾は不要。 ③「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ④「推薦書」欄の記入は任意（無記入可）。 ※推薦書記入者は、博士前期（修士）課程志願者においては出身大学の学部長又は指導教員、博士後期課程志願者においては出身大学院の研究科長又は指導教員を原則とする。 ※中京大学出身者及び社会人選抜志願者は推薦書の記入不要。 ⑤「修士論文」欄は、博士前期（修士）課程修了者のみ修士論文の題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。 ⑥「入学後の研究計画」欄は博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。 ※博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため記入不要。
卒業証明書 （含見込）	<p>〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 （含見込）	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。

書類名称	詳細
論文	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉 次の①～③を提出すること（②は該当するものがあれば提出）。 ①修士論文又はこれに代わる業績（作成途中のものでも可）。 ②学術雑誌・紀要・学会発表論文集等に掲載された業績。 ③上記の業績目録（別紙にて提出）。 ※上記①～③いずれもコピー可。返却はしない。</p>
研究計画書	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉 ・博士後期課程における研究計画について記載した書類を提出すること。 ・書式自由、400字詰原稿用紙10枚程度。</p>
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉 ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。</p>

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<p>・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。</p>
住民票	<p>・外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。</p>
身元保証書【巻末書類】	<p>・巻末—身元保証書を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。</p>
パスポートのコピー	<p>・顔写真のページのコピーを提出すること。</p>

8. 教員組織

文学研究科長 酒 井 敏

日本文学・日本語文化専攻

博士前期課程 (修士課程)	専任教授	徳 竹 由 明	古典文学演習・研究指導
	専任教授	柳 沢 昌 紀	古典文学演習・研究指導
	専任教授	酒 井 敏	近代文学演習・研究指導
	専任教授	後 藤 英 次	日本語学演習・研究指導
	専任教授	甘 露 純 規	日本語文化演習・研究指導
	専任教授	大 池 茂 樹	書道演習・研究指導
	専任教授	福 井 佳 夫	漢文学演習・研究指導
	専任准教授	宮 内 佐 夜 香	日本語文化演習・研究指導
	専任准教授	勝 亦 志 織	古典文学演習・研究指導
博士後期課程	専任教授	徳 竹 由 明	古典文学演習・研究指導
	専任教授	柳 沢 昌 紀	古典文学演習・研究指導
	専任教授	酒 井 敏	近代文学演習・研究指導
	専任教授	甘 露 純 規	日本語文化演習・研究指導
	専任教授	福 井 佳 夫	漢文学演習・研究指導

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

歴史文化専攻

修士課程	専任教授	村 岡 幹 生	日本中世史料研究・日本歴史文化特殊研究
	専任教授	播 磨 良 紀	戦国・織豊期史料研究・日本歴史文化特殊研究
	専任教授	小 川 和 也	日本思想史史料研究・日本歴史文化特殊研究
	専任教授	白 根 孝 胤	日本近世史料研究・日本歴史文化特殊研究
	専任准教授	中 元 崇 智	日本近現代史料研究・日本歴史文化特殊研究
	専任准教授	小 原 嘉 記	日本古代史料研究・日本歴史文化特殊研究
	専任准教授	小 早 川 道 子★	地域社会の伝統と文化資料研究

★…指導教員として選択できません。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

国際英語学研究科

国際英語学専攻【修士課程】

英米文化学専攻【修士課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。
- 国際英語学研究科国際英語学専攻及び英米文化学専攻は2019年度秋学期入学試験を実施します。2019年度秋学期入学試験要項は2019年4月に本学公式ホームページ上で公表します。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分	入学定員*
国際英語学	国際英語学	修士	一般選抜	5名
	英米文化学	修士	一般選抜	3名

※入学定員は2019年度秋学期入学試験の定員との合算人数を示す。

2. 出願資格

試験区分	出願資格
<p>一般選抜</p> <p>国際英語学専攻</p> <p>英米文化学専攻</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</p> <p>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</p> <p>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</p> <p>⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>⑧文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者</p> <p>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p> <p>対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※1}	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※2}	入学辞退 手続締切日
				最終日 消印有効			消印有効	
前期日程	国際英語学	修士	一般	2018年 8月27日(月)	2018年 9月29日(土)	2018年 10月9日(火)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火)	2019年 3月31日(日)
	英米文化学			【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)				
後期日程	国際英語学	修士	一般	2019年 1月28日(月)	2019年 2月23日(土)	2019年 3月5日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	
	英米文化学							

※1…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※2…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

4. 選抜方法

①当日の試験、②出身大学・大学院の成績、③その他出願書類によって行います。

5. 試験科目・時間等

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
国際英語学	一般	10：00 ） 12：00	国際英語学 ・英語学、社会言語学、外国語教育学、地域研究等の基本的知識の有無をみる。 ・辞書等の持込は不可。
		13：30 ） 15：00	英語 ・辞書等の持込は不可。 ・TOEFLスコア88点（iBT基準）以上又はTOEIC L&Rスコア800点以上（IPテスト可）又は英検準1級以上の者は英語の試験を免除。
		15：30 [*] ）	口頭試問 ・志望領域の関心と学識、入学後の研究計画等について日本語・英語で試問を行う。
英米文化学	一般	10：00 ） 12：00	英語 ・電子辞書を含め、辞書持込可。 ・TOEFLスコア173点（CBT基準）／500点（PBT基準）／61点（iBT基準）以上又はTOEIC L&Rスコア700点以上（IPテスト可）又は英検準1級以上の者は英語の試験を免除。
		13：30 [*] ）	口頭試問 ・志望領域の関心と学識、入学後の研究計画等について日本語・英語で試問を行う。

※口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

名古屋キャンパス14号館1階ロビー 9:30集合

〈英米文化学専攻で英語の試験を免除する場合のみ〉

名古屋キャンパス14号館1階ロビー 13:00集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	国際英語学専攻	英米文化学専攻
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。 	
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。 	
志願書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ① 巻末—国際英語学・志願書を使用すること。 ② 「卒業論文又は修士論文」欄には、論文の題目と概要を記入すること（400字程度、作成途中の場合は予定を記入）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※卒業論文等を作成していない場合は、その旨を記入。 ③ 「入学後の研究計画案」欄には、研究計画や研究したい内容を記入すること（400字程度）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 「卒業論文又は修士論文」欄には、論文の題目と概要を記入すること（400字程度、作成途中の場合は予定を記入）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※卒業論文等を作成していない場合は、研究計画書を提出すること（後掲「卒業論文（修士論文）研究計画書」参照）。
卒業証明書 （含見込）	<ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。 	
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 	
検定試験証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語」試験の免除を希望する者は、各検定試験の成績証明書（コピー可）を提出すること。 	
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・当専攻を志望する理由を書面にまとめ、提出すること（書式自由、800字程度）。 	
卒業論文 （修士論文） 研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> 次の①②のいずれかを提出すること。 ①卒業論文又は修士論文 ②研究計画書（書式自由、2,000字程度） ※いずれもコピー可。返却はしない。 	
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。 	

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> 外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> 巻末—身元保証書を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートの コピー	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

国際英語学研究科長 クリストファー・J・アームストロング

国際英語学専攻

修士課程	専任教授	ジェームズ・ダンジェロ	国際英語学特論
	〃	榎木 蘭 鉄 也	言語政策特論
	〃	都 築 雅 子	国際英語学特殊演習
	〃 准教授	リチャード・モリソン★	英語プレゼンテーション特論
	〃	松 元 洋 介★	英語論文作成法特論
	〃 講師	尾 和 潤 美★	異文化理解特論
	〃	メリサンダ・ベルコウィッツ	国際関係学特論

★…指導教員として選択できません。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

英米文化学専攻

修士課程	専任教授	細 川 眞★	演劇文化特論
	〃	岩 田 託 子	イギリス文化研究特論
	〃	足 立 公 也	言語システム研究特論
	〃	クリストファー・J・アームストロング	北アメリカ文化研究特論
	〃	森 有 礼	英米文化学特論
	〃	中 川 直 志	英米文化学特論
	〃 准教授	杉 浦 清 文★	比較地域文化特論

★…指導教員として選択できません。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

心理学研究科

実験・応用心理学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

臨床・発達心理学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「[研究科共通ページ](#)」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分 ^{※1}	入学定員
心理学	実験・応用心理学	博士前期（修士）	一般・社会人 ^{※2} 選抜	5名
		博士後期	一般選抜	2名
	臨床・発達心理学	博士前期（修士） ^{※3}	一般・社会人 ^{※2} 選抜	15名
		博士後期	一般選抜	2名

※1…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

※2…社会人選抜は心理学の基礎を学修済であり、現在、心理学関連の業務に就いている方へのリカレント教育を主眼にしている。

※3…臨床・発達心理学専攻博士前期（修士）課程は、入学後に発達心理学領域から臨床心理学領域へ所属を変更することはできない。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
<p>一般選抜</p> <p>実験・応用心理学専攻</p> <p>臨床・発達心理学専攻</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</p> <p>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</p> <p>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</p> <p>⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>⑧文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者</p> <p>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに学部大学院事務課までお問い合わせください。</p> <p>対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
<p>社会人選抜</p> <p>実験・応用心理学専攻</p> <p>臨床・発達心理学専攻</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・入学時において、大学卒業後7年以上経過した者。なお、職歴の有無や内容は問わない。ただし、心理学の基礎を学修済であり、心理学関連の業務に就いている者が望ましい。</p>

博士後期課程

試験区分	出 願 資 格
<p style="text-align: center;">一般選抜</p> <p>実験・応用心理学専攻</p> <p>臨床・発達心理学専攻</p>	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者</p> <p>②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者</p> <p>⑦文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※2}		可否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3}	
				最終日 消印有効	試験日		消印有効	入学辞退 手続締切日 必着
前期 日程	実験・応用 心理学	博士前期 (修士)	一般 社会人	2018年 8月20日(月)	2018年 9月7日(金)	2018年 9月19日(水)	【第一次入学手続】 2018年 9月26日(水)	2019年 3月13日(水)
	臨床・発達 心理学			8月24日(金)	9月8日(土)			
後期 日程	実験・応用 心理学	博士前期 (修士)	一般	2019年 1月7日(月)	2019年 2月1日(金)	2019年 2月13日(水)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	臨床・発達 心理学							
	実験・応用 心理学	博士後期 ^{※1}	一般					
	臨床・発達 心理学							

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願を受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
- 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

一般選抜——①当日の試験（英語・心理学・口頭試問）、②出身大学の成績、③卒業論文又はこれに代わる研究成果、④研究計画 によって行います。

社会人選抜——①当日の試験（英語・小論文・口頭試問）、②出身大学の成績、③卒業論文又はこれに代わる研究成果（該当するものがない場合は除外）、④研究計画 によって行います。

博士後期課程

一般選抜——①当日の試験（英語・課題論述・口頭試問）、②出身大学院の成績、③修士論文又はこれに代わる研究成果、④研究計画によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
実験・応用心理学 臨床・発達心理学	一般	1日目	10:00 } 12:00	英語 ・心理学英語文献の読解力を試すもの。 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			13:30 } 15:30	心理学 ・研究科共通問題と領域固有問題により構成。研究科共通問題は心理学全般にわたる基本的学識、領域固有問題は各専門領域に特化した基礎知識を試すもの。
		2日目	10:00 [*] }	口頭試問 ・志望領域への関心と学識、入学後の研究計画等について、志望領域の教員が中心になって試問を行う。
	社会人	1日目	10:00 } 12:00	英語 ・英語文献の読解力を試すもの。 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			13:30 } 15:30	小論文 ・志望領域に関する課題について専門的知識や論述能力を試すもの。
		2日目	10:00 [*] }	口頭試問 ・志望領域への関心と学識、入学後の研究計画等について、志望領域の教員が中心になって試問を行う。

※…口頭試問の開始時刻は、受験者数により9:00～に変更になる場合がある。なお、口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる（詳細は1日目に通知）。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
実験・応用心理学 臨床・発達心理学	一般	1日目	10:00 }	英語 ・課題研究を行う上で必要な専門書（英語）の読解力を試すもの。 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			12:00 }	
			13:30 }	課題論述 ・心理学的問題を総括的に論じる力量を評価するもの。
	2日目	10:00*	口頭試問 ・自身の研究課題に即して今後の展開を中心に試問を行う。	

※…口頭試問の開始時刻は、受験者数により9:00～に変更になる場合がある。なお、口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる（詳細は1日目に通知）。

6. 試験当日集合場所・時間

1日目 — 名古屋キャンパス 3号館別館 5階 大学院研修室 9:30集合
2日目 — 1日目に通知

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ① 巻末一心理学・志願書 を使用すること。 ② 「学部・大学院在学時指導教員名」欄は、フルネームを記入すること。 ③ 「入学後の研究計画案」欄は、博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため入学後の研究計画案は記入不要。
卒業証明書 (含見込)	<p>〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。

書類名称	詳細
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	〈博士後期課程志願者のみ〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	〈博士前期（修士）課程志願者〉 ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 〈博士後期課程志願者〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
論文	〈博士前期（修士）課程志願者〉 一般選抜志願者 ①卒業論文又はこれに代わる論文（必要に応じて図や表を含めてよい）を提出すること。 ②提出論文には別紙にて要約（1,500字程度）を添付すること。 ③前期日程志願者のうち、2019年3月卒業見込で卒業論文未完の者は、別紙にてその論文の概要（2,000字程度）を提出すること。 ④卒業論文を作成していない場合は、別紙にその旨を記入し提出すること。 ※上記①～④いずれもコピー可。返却はしない。 社会人選抜志願者 ・参考資料として、卒業論文又は大学卒業後に作成した論文等があれば、その要約（1,500字程度）を提出すること。 ※コピー可。返却はしない。 〈博士後期課程志願者〉 次の①～③を提出すること（②は該当するものがあれば提出）。 ①修士論文又はこれに代わる業績（修士論文作成中の場合は修士論文要旨、字数指定なし）。 ②学術雑誌・紀要・学会発表論文集等に掲載された業績。 ③上記の業績目録（別紙にて提出）。 ※上記①～③いずれもコピー可。返却はしない。
出願理由書	〈博士前期（修士）課程 社会人選抜志願者のみ〉 ・書式自由、1,500字程度。
研究計画書	〈博士後期課程志願者のみ〉 ・書式自由、4,000字程度。
戸籍抄本等	〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉 ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	・外国人登録をしている市役所や区役所で取得できます。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	・ 巻末一身元保証書 を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートの コピー	・顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

心理学研究科長 尾入正哲

博士前期課程 (修士課程)	担当領域	職位	氏名	主要研究テーマ
	実験心理学	教授	鬢 櫛 一 夫	視覚のメカニズム
	〃	〃	近 藤 洋 史	実験心理学、認知神経科学
	〃	准教授	高 橋 康 介	認知心理学、認知科学、認知神経科学
	応用心理学	教授	向 井 希 宏	産業心理、技能習熟
	〃	〃	尾 入 正 哲	環境心理学、組織と安全
	〃	准教授	松 本 友 一 郎	組織心理学、職場の人間関係
	臨床心理学	教授	坂 井 誠 *	行動療法、認知行動療法
	〃	〃	永 田 法 子 *	学校教育臨床、心理療法
	〃	〃	神 谷 栄 治 *	心理アセスメント、心理面接
	〃	〃	馬 場 史 津 *	心理アセスメント、心理療法
	〃	准教授	明 翫 光 宜 *	発達障害、心理アセスメント、心理療法
	発達心理学	教授	水 野 里 恵	発達心理学、気質、パーソナリティ
	〃	〃	小 島 康 生	家族発達行動学
〃	准教授	川 島 大 輔	生涯発達心理学、死生学、自殺予防学	

博士後期課程	実験心理学	教授	鬢 櫛 一 夫	視覚のメカニズム
	〃	〃	近 藤 洋 史	実験心理学、認知神経科学
	〃	准教授	高 橋 康 介 ★	認知心理学、認知科学、認知神経科学
	応用心理学	教授	向 井 希 宏	産業心理、技能習熟
	〃	〃	尾 入 正 哲	環境心理学、組織と安全
	〃	准教授	松 本 友 一 郎 ★	組織心理学、職場の人間関係
	臨床心理学	教授	坂 井 誠 *	行動療法、認知行動療法
	〃	〃	永 田 法 子 *	学校教育臨床、心理療法
	〃	〃	神 谷 栄 治 *	心理アセスメント、心理面接
	〃	〃	馬 場 史 津 *	心理アセスメント、心理療法
	〃	准教授	明 翫 光 宜 **	発達障害、心理アセスメント、心理療法
	発達心理学	教授	水 野 里 恵	発達心理学、気質、パーソナリティ
	〃	〃	小 島 康 生	家族発達行動学
	〃	准教授	川 島 大 輔	生涯発達心理学、死生学、自殺予防学

*…臨床心理士有資格者

★…指導教員として選択できません。

※上記は、2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

社会学研究科

社会学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）*	入学定員
社会学	社会学	博士前期（修士）	一般・留学生選抜	5名
		博士後期	一般・留学生選抜	2名

※…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者

博士後期課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者</p>

3. 入試日程一覧

日程	課程	試験区分	出願期間 ^{※2} 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3} 消印有効	入学辞退 手続締切日 必着
前期日程	博士前期 (修士)	一般 留学生	2018年 8月27日(月)) 9月7日(金)	2018年 9月29日(土)	2018年 10月9日(火)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	博士前期 (修士)	一般 留学生	2019年 1月7日(月)) 1月16日(水)	2019年 2月9日(土)	2019年 2月19日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	
後期日程	博士後期 ^{※1}	一般 留学生					

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教育学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教育学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

出願する前に、指導を希望する教員に連絡を取ることが望ましい。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

①当日の試験（筆記試験・口頭試問）、②論文又はこれに代わる業績を記す書類、③出身大学の成績、④その他出願書類（研究計画の内容を重視） によって行います。

博士後期課程

①当日の試験（筆記試験・口頭試問）、②論文又はこれに代わる業績を記す書類、③出身大学院の成績、④その他出願書類（研究計画の内容を重視） によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
社会学	一般	10:00 } 11:20	英語（英文読解） ・英和辞典・日本語辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		11:40 } 13:00	社会学
		14:00* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。
	留学生	10:00 } 11:20	英語（英文読解）又は日本語 ・英語（英文読解）又は日本語から1科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・英和辞典・日本語辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		11:40 } 13:00	社会学
		14:00* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
社会学	一般	10:00 } 11:20	英語 ・英和辞典・日本語辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		12:30* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
社会学	留学生	10:00 }\n11:20	英語又は日本語 ・英語又は日本語から1科目を出願時に申請し(志願書に記入)、その科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・英和辞典・日本語辞典持込可(電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可)。
		12:30* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

豊田キャンパス9号館1階 ロビー 9:30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類(卒業証明書・成績証明書等)には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真(正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影)の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書(願書貼付用)を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ①巻末「社会学・志願書」を使用すること。 ②「志望指導教員名」欄は、後掲「教員組織」を参照の上、選択し記入すること。 ※出願する前に、指導を希望する教員に連絡をとることが望ましい。 ③「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ④「修士論文又は卒業論文」欄には、博士前期(修士)課程修了者は修士論文について、学部卒業者は卒業論文について、その題目と概要を記入すること(作成途中の場合は予定を記入)。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。卒業論文を作成していない場合はその旨を記入。 ⑤「入学後の研究計画案」欄は、博士前期(修士)課程志願者は、研究計画や研究したい内容を400～500字程度にまとめて記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※博士後期課程志願者は、後掲「研究計画書」の指示に従い別紙にて提出すること。
卒業証明書 (含見込)	<p>〈博士前期(修士)課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者(含見込)は、その修了(見込)証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。

書類名称	詳細
成績証明書	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
研究計画書	<p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究科で研究したい分野、方法、受けたい指導について記入すること。 ・書式自由、2,000字程度。
論文	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒業論文又はこれに代わる論文のコピー（卒業論文が数年前のものである場合は、両方提出可）。 ※論文内容は、本研究科の専攻内容と著しく関係を欠かないものであること。 ※卒業論文に代わる論文の場合、その論文は16,000字前後にまとめたものに限る。 ②上記①の提出論文には要約を付すこと（1,200～2,000字）。 ③外国語による卒業論文又はこれに代わる論文は、日本語で8,000字程度にまとめた文を添付すること。この場合、上記②の要約は不要。 ④前期日程志願者のうち、2019年3月卒業見込で卒業論文未完の者は、その論文の概要（2,000字以上）を提出することで、上記の論文に代えることができる。 ⑤外国人留学生志願者の場合も、①～④と同様に対応すること。 ⑥提出論文は、原則として返却しない。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①修士論文又はこれに代わる論文のコピー（修士論文が数年前のものである場合は、両方提出可）。 ※論文内容は、本研究科の専攻内容と著しく関係を欠かないものであること。 ※修士論文に代わる論文の場合、その論文は16,000字前後にまとめたものに限る。 ②上記①の提出論文には要約を付すこと（1,200～2,000字）。 ③外国語による修士論文又はこれに代わる論文は、日本語で16,000字程度にまとめた文を添付すること。この場合、上記②の要約は不要。 ④外国人留学生志願者の場合も、①～③と同様に対応すること。 ⑤提出論文は、原則として返却しない。
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 さらに、次の①②に該当する者は指定する書類を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。 ①「日本語能力試験N1レベル又は1級」を受験した者は、成績証明書を必ず提出。 ②「日本留学試験」を受験した者は、受験票を必ず提出（本学が日本学生支援機構へ成績照会が可能な回のうち本人が「日本語」の成績照会を希望する回のもの）。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末—身元保証書を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

社会学研究科長 野口典子

博士前期課程 (修士課程)	専任教授	野口典子	ソーシャルケア論A・B特殊講義・演習
	専任教授	斉藤尚文	社会人類学A・B特殊講義・演習
	専任教授	加藤晴明	メディア社会論A・B特殊講義・演習
	専任教授	小木曾洋司	地域社会学A・B特殊講義・演習
	専任教授	亀山俊朗	社会思想史A・B特殊講義・演習
	専任教授	辻井正次	社会臨床心理学A・B特殊講義・演習
	専任教授	亀井哲也	博物館人類学A・B特殊講義・演習
	専任教授	大岡頼光	福祉社会学A・B特殊講義・演習
	専任教授	成元哲	環境・健康社会学A・B特殊講義・演習
	専任教授	松田茂樹	家族社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	芦川晋	理論社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	伊藤葉子	ソーシャルワーク論A・B特殊講義・演習
	専任准教授	松谷満	文化社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	岡部真由美	文化人類学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	相澤真一	社会史・歴史社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	中原純	社会統計学A・B特殊講義・演習
専任准教授	森田次朗	教育社会学A・B特殊講義・演習	

博士後期課程	専任教授	野口典子	ソーシャルケア論A・B・演習
	専任教授	斉藤尚文	社会人類学A・B・演習
	専任教授	加藤晴明	メディア社会論A・B・演習
	専任教授	小木曾洋司	地域社会学A・B・演習
	専任教授	亀山俊朗	社会思想史A・B・演習
	専任教授	辻井正次	社会臨床心理学A・B・演習
	専任教授	亀井哲也	博物館人類学A・B・演習
	専任教授	大岡頼光	福祉社会学A・B・演習
	専任教授	成元哲	環境・健康社会学A・B・演習
	専任教授	松田茂樹	家族社会学A・B・演習
	専任准教授	芦川晋	理論社会学A・B・演習
	専任准教授	伊藤葉子	ソーシャルワーク論A・B・演習
	専任准教授	松谷満	文化社会学A・B・演習
	専任准教授	岡部真由美	文化人類学A・B・演習
	専任准教授	相澤真一	社会史・歴史社会学A・B・演習
	専任准教授	中原純	社会統計学A・B・演習
専任准教授	森田次朗	教育社会学A・B・演習	

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

法学研究科

法律学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

- 博士前期（修士）課程学内特別選抜については別冊子『**2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項**』（**教学部大学院事務課窓口にて配付**）を参照してください。

1. 入学定員・試験区分（選抜方式）・コース制

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）*	入学定員
法学	法律学	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生・学内特別選抜	10名
		博士後期	一般・留学生選抜	3名

※同一日程における複数の試験区分の併願不可。

学内特別選抜については別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教育学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

〈コース制について〉

博士前期（修士）課程には、研究コースと専門コースの2コースがあり、①研究コースは研究者・研究員等を目指す者のため、②専門コースは高度な専門的知識を有する職業人を目指す者のためのコースである。目的のいかんにかかわらず、いずれのコースを選ぶかは志願者の自由である。ただし、社会人選抜に出願する者は専門コースとする。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の①～③のいずれかに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019年4月1日時点で30歳に達する者 ②大学卒業後5年以上又は大学院修了後3年以上の社会経験を有しており、本研究科に入学後、その社会経験に関連した事項について研究を行う予定の者 ③その他、本研究科において社会人選抜に出願する資格があると認めた者
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者 <p>※ただし、日本において通常の高等学校教育の課程又は大学教育の課程を含めて、学校教育における7年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者は、留学生選抜には出願できない。</p>

博士後期課程

試験区分	出 願 資 格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・ 出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者 ※ただし、日本において通常の高等学校教育の課程又は大学教育の課程を含めて、学校教育における7年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者は、留学生選抜には出願できない。</p>

3. 入試日程一覧

日程	課程	試験区分	出願期間 ^{※2}	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3}	入学辞退 手続締切日 必着
			最終日 消印有効			消印有効	
前期日程	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生	2018年 8月20日(月))	2018年 9月13日(木)	2018年 9月26日(水)	【第一次入学手続】 2018年 10月3日(水) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
			8月29日(水)				
後期日程	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生	2019年 1月21日(月))	2019年 2月15日(金)	2019年 2月26日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	
	博士後期 ^{※1}	一般 留学生	2月1日(金)				

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
- 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志願にあたっては、志望指導教員との事前面談を必要とします。出願期間前に期日の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等の調整をします。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

一般選抜——①当日の試験、②出身大学の成績 によって行います。

社会人選抜——①当日の試験、②出身大学の成績、③研究計画書 によって行います。

留学生選抜——①当日の試験、②出身大学の成績、③日本語の学力に関する成績 によって行います。

博士後期課程

①当日の試験、②出身大学院の成績、③論文又はこれに代わる業績を記す書類、④研究計画書 によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目		
法律学	研究コース	一次試験	9 : 30 } 11 : 00 外国語 ①英語 ②ドイツ語 ③フランス語 ④中国語 ・上記①～④の科目の中から、 母語を除く1科目 を出願時に申請し(志願書に記入)、その科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・法史学・日本政治史を志望する者は「 古文書読解 」で代えることができる。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可(どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可)。		
		一次試験の合格発表	12 : 30 (予定)	当日9号館1階ロビーで行い、合格者のみ二次試験の受験を許可する。	
		二次試験	13 : 00 } 14 : 30	専門科目 ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目(志望専門科目)1科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。	
			15 : 00* }	口頭試問	
		一般	一次試験	9 : 30 } 11 : 00	外国語又は論文科目 【外国語】 ①英語 ②ドイツ語 ③フランス語 ④中国語 ・上記①～④の科目の中から、 母語を除く1科目 を出願時に申請し(志願書に記入)、その科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・法史学・日本政治史を志望する者は「 古文書読解 」で代えることができる。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可(どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可)。 【論文科目】 ・自己の志望する指導教員の専攻分野と異なる分野(志望専門科目以外)から1科目を出願時に申請し(志願書に記入)、その科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・自己の志望する指導教員の専攻分野と異なる分野の選択にあたっては、後掲「教員組織」を参照すること。
				一次試験の合格発表	12 : 30 (予定)
	二次試験		13 : 00 } 14 : 30	専門科目 ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目(志望専門科目)1科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。	
			15 : 00* }	口頭試問	

専攻	試験区分		試験時間	試験科目		
法律学	社会人	専門コースのみ	一次試験	—	免除	
			二次試験	13:00 }	14:30	専門科目 ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（志望専門科目）1科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。
				15:00** }		口頭試問
	留学生	研究・専門コース共通	一次試験	9:30 }	11:00	外国語（口頭での日本語会話能力試験）
			一次試験の合格発表	12:30 (予定)		当日9号館1階ロビーで行い、合格者のみ二次試験の受験を許可する。
			二次試験	13:00 }	14:30	専門科目 ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（志望専門科目）1科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。
15:00** }		口頭試問				

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	
法律学	一般	9:30 }	12:30	外国語 ①英語Ⅰ ②英語Ⅱ ③ドイツ語Ⅰ ④ドイツ語Ⅱ ⑤フランス語Ⅰ ⑥フランス語Ⅱ ⑦中国語Ⅰ ⑧中国語Ⅱ ・上記①～⑧の科目の中から、母語を除く2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・法史学・日本政治史を志望する者は「古文書読解Ⅰ」「古文書読解Ⅱ」で代えることができる。 ・科目選択にあたっては、同一言語（Ⅰ・Ⅱ）の選択可。 ※Ⅰ・Ⅱは難易度を表すものではない。 ・研究上必要な外国語（又は言語関連科目）と出願時に申請した科目に齟齬がある場合、受験科目の変更を指示する場合がある（出願後に通知）。 ※言語関連科目とは「古文書読解Ⅰ・Ⅱ」を指す。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可（どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14:00 }		15:30
		16:00** }		口頭試問

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
法律学	留学生	9 : 30 }\n12 : 30	外国語 ①英語Ⅰ ②英語Ⅱ ③ドイツ語Ⅰ ④ドイツ語Ⅱ ⑤フランス語Ⅰ ⑥フランス語Ⅱ ⑦中国語Ⅰ ⑧中国語Ⅱ ⑨日本語Ⅰ ⑩日本語Ⅱ ・上記①～⑩の科目の中から、 母語を除く2科目 を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・法史学・日本政治史を志望する者は「古文書読解Ⅰ」「古文書読解Ⅱ」で代えることができる。 ・科目選択にあたっては、同一言語（Ⅰ・Ⅱ）の選択可。 ※Ⅰ・Ⅱは難易度を表すものではない。 ・研究上必要な外国語（又は言語関連科目）と出願時に申請した科目に齟齬がある場合、受験科目の変更を指示する必要がある（出願後に通知）。 ※言語関連科目とは「古文書読解Ⅰ・Ⅱ」を指す。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可（どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14 : 00 }\n15 : 30	専門科目 ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（志望専門科目）1科目又は当該教員の指定する専門科目1科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野及び専門科目は、後掲「教員組織」を参照すること。 ・本研究科博士前期（修士）課程研究コースより進学する者、その他これと同等の教育課程を修了した者と本研究科委員会において認めた者は専門科目を免除。
		16 : 00 [*] ～	口頭試問

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

一般選抜・留学生選抜——名古屋キャンパス9号館1階 ロビー 9 : 00集合
 社会人選抜——名古屋キャンパス9号館1階 ロビー 12 : 30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は**黒色のペン又はボールペン**を使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は**3カ月以内**に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には**日本語訳を添付**してください。
- ④所定用紙以外の書類（別紙等）は**A4判サイズ**のものを提出してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。
- ⑥志願にあたっては、志望指導教員との事前面談を必要とします。出願期間前に期日の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等の調整をします。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3カ月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。

書類名称	詳細
志願書 【巻末書類】	① 巻末一法学・志願書を使用すること。 ② 博士前期（修士）課程社会人選抜志願者は、「在学期間」を選択すること。 ※選択した在学期間のいかにかわらず、4年を超えて在学することはできない（長期履修制度については、研究科共通ページ「学費等」参照）。 ③ 「志望専門科目」欄及び「志望指導教員名」欄は、後掲「教員組織」を参照の上、選択し記入すること。 ④ 「外国語又は論文科目で受験する科目」欄は、受験する科目名を明確に記入すること。 ⑤ 「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ⑥ 「修士論文又は卒業論文」欄には、博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。卒業論文を作成していない場合はその旨を記入。 ⑦ 「入学後の研究計画案」欄は、研究計画又は研究したい内容を400～500字程度にまとめて記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。
卒業証明書 （含見込）	〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉 ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）の者は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 （含見込）	〈博士後期課程志願者のみ〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	〈博士前期（修士）課程志願者〉 ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 〈博士後期課程志願者〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
研究計画書	〈博士前期（修士）課程 社会人選抜志願者のみ〉 ・書式自由、字数制限なし（目安は2,000字程度）。 ・志願書で選択した在学期間に応じた計画を記載すること。 〈博士後期課程志願者〉 ・書式自由、字数制限なし（目安は2,000字程度）。
論文	〈博士後期課程志願者〉 ① 修士論文又はこれに代わる業績 3部 ② 上記①の要旨（A4判用紙、4,000字以内） 3部 ※上記①②いずれもコピー可。返却はしない。 ※外国人留学生で日本語以外の言語によって作成された論文を提出する場合は、日本語による論文要旨（A4判用紙、4,000字以内）を併せて提出すること。
戸籍抄本等	〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉 ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<p>次の①②のいずれかを提出すること。</p> <p>※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。</p> <p>①「日本語能力試験 N1 レベル又は 1 級」の成績証明書</p> <p>②「日本留学試験」の受験票（本学が日本学生支援機構へ成績照会が可能な回のうち本人が「日本語」の成績請求を希望する回のもの）</p>
住民票	<ul style="list-style-type: none"> 外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前 3 カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末－身元保証書 を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

法学研究科長 愛知正博

博士前期課程 (修士課程)	職 位	名 前	専攻分野 (専門科目)
	専任教授	愛知正博	刑事訴訟法
	専任教授	小坂田裕子	国際法
	専任教授	杉島由美子	民法
	専任教授	檀上弘文	刑法
	専任教授	土井崇弘	法哲学
	専任教授	土岐孝宏★	企業法
	専任教授	新里慶一	企業法
	専任教授	檜山幸夫★	日本政治史
	専任教授	古川浩司	国際関係論
	専任教授	保条成宏	刑法
	専任教授	皆川治廣	憲法訴訟論
	専任教授	森 まどか	企業法
	専任准教授	上田貴彦	民法
	専任准教授	大原寛史	民法
	専任准教授	京 俊介	政治過程論
	専任准教授	小嶋崇弘	知的財産法
	専任准教授	柴田洋二郎	労働法
	専任准教授	張 栄紅	行政法
	専任准教授	濱崎智江★	民法
専任准教授	矢切 努	法史学	

★…指導教員として選択できません。
 ※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

博士前期 (修士) 課程受験において選択できる専門科目及び指導教員ならびに論文科目に関する一覧表

専門分野	専門科目・論文科目	指導教員	専門分野	専門科目・論文科目	指導教員	専門分野	専門科目・論文科目	指導教員
公法	憲法訴訟論	皆川治廣	商法・企業法	企業法	森 まどか	国際法	国際法	小坂田裕子
	行政法	張 栄紅		企業法	★土岐孝宏	労働法	労働法	柴田洋二郎
民法	民法	杉島由美子	知的財産法	知的財産法	小嶋崇弘	法史学	法史学	矢切 努
	民法	大原寛史		刑法	刑法	保条成宏	法哲学	法哲学
	民法	★濱崎智江	刑法		檀上弘文	国際政治	国際関係論	古川浩司
	民法	上田貴彦						
商法・企業法	企業法	新里慶一	刑事手続法等	刑事訴訟法	愛知正博	政治学	政治過程論	京 俊介

★…指導教員として選択できません。

博士後期課程	職 位	名 前	専攻分野（専門科目）
	専任教授	愛 知 正 博	刑事訴訟法
	専任教授	小坂田 裕 子	国際法
	専任教授	杉 島 由美子	民法
	専任教授	檀 上 弘 文	刑法
	専任教授	土 井 崇 弘	法哲学
	専任教授	土 岐 孝 宏★	企業法
	専任教授	新 里 慶 一	企業法
	専任教授	檜 山 幸 夫★	日本政治史
	専任教授	古 川 浩 司	国際関係論
	専任教授	保 条 成 宏	刑法
	専任教授	皆 川 治 廣	憲法訴訟論
専任教授	森 まどか	企業法	

★…指導教員として選択できません。

※志望する指導教員の専攻分野及び専門科目（志願書に記入する「志望専門科目」）は、上表の右端欄を参照してください。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

経済学研究科

経済学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

総合政策学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）は**巻末**を確認してください。
- 博士前期（修士）課程学内特別選抜については別冊子『**2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項**』（**教学部大学院事務課窓口にて配付**）を参照してください。
- 経済学専攻のみ**2019年度秋学期入学試験**を実施します。2019年度秋学期入学試験要項は2019年4月に本学公式ホームページ上で公表します。
※博士前期（修士）課程の秋学期入学試験では、学内特別選抜は実施しません。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分 ^{※1}	入学定員
経済学	経済学	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生・税理士・学内特別選抜	5名 ^{※2}
		博士後期	一般選抜	2名 ^{※2}
	総合政策学	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生・学内特別選抜	5名
		博士後期	一般選抜	2名

※1…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

外国人留学生で博士前期（修士）課程を志願する者は、一般選抜、留学生選抜、学内特別選抜のいずれかに出願すること。

※2…経済学専攻の入学定員は2019年度秋学期入学試験の定員との合算人数を示す。

学内特別選抜については別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
<p>一般選抜</p> <p>経済学専攻</p> <p>総合政策学専攻</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</p> <p>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</p> <p>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</p> <p>⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>⑧文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者</p> <p>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p> <p>対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
<p>社会人選抜</p> <p>経済学専攻</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・入学時に大学卒業後3年以上経過した者。なお、職歴の有無や内容は問わない</p>
<p>社会人選抜</p> <p>総合政策学専攻</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・大学を卒業した者かつ入学時に職業経験がある者</p>

試験区分	出 願 資 格
税理士選抜 経済学専攻	一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。 ・税理士を志望する者
留学生選抜 経済学専攻 総合政策学専攻	一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。 ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者

博士後期課程

試験区分	出 願 資 格
一般選抜 経済学専攻 総合政策学専攻	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位や専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要のある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{*2}	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{*3}	入学辞退 手続締切日
				最終日 消印有効			消印有効	必着
前期日程	経済学	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生 税理士	2018年 6月11日(月)) 6月22日(金)	2018年 7月7日(土)	2018年 7月18日(水)	【第一次入学手続】 2018年 7月31日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	総合政策学		一般 社会人 留学生	2018年 8月27日(月)) 9月7日(金)	2018年 9月29日(土)	2018年 10月9日(火)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※2}	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3}	入学辞退 手続締切日
				最終日 消印有効			消印有効	必着
後 期 日 程	経済学	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生 税理士	2019年 1月28日(月)) 2月8日(金)	2019年 2月23日(土)	2019年 3月5日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	総合政策学		一般 社会人 留学生					
	経済学	博士後期 ^{※1}	一般					
	総合政策学							

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願を受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志願者は出願前に志望指導教員に連絡を取り面談を受けてください。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

①当日の試験、②出身大学の成績によって行います。

博士後期課程

①当日の試験、②論文又はこれに代わる業績を記す書類、③出身大学院の成績によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
経済学	一般	10：00) 12：00	<p>●必須科目：英語</p> <p>・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。</p> <p>●選択科目：①ミクロ経済学 ②マクロ経済学 ③志望する専攻分野の科目</p> <p>・上記3科目の中から、2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。</p> <p>・志望する専攻分野は志望指導教員の専攻分野とすること（教員の専攻分野は後掲「教員の研究分野の紹介」参照）。</p>
		筆記試験 終了後 [※]	面接

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
経済学	社会人 税理士 留学生	10:00 } 11:00	小論文 ・出願時に申請した志望する専攻分野（志願書に記入）から出題。 ・志望する専攻分野は志望指導教員の専攻分野とすること（教員の専攻分野は後掲「教員の研究分野の紹介」参照）。
		筆記試験 終了後*	面接
総合政策学	一般	10:00 } 12:00	選択科目：①経済学 ②経営学 ③政治学（行政学を含む）④法学 ⑤英語 ・上記5科目の中から、2科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・英語選択の場合、英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 ・選択科目（英語を除く）の基本文献は後掲参照
		12:30* }	面接
	留学生	10:00 } 11:30	選択科目：①経済学 ②経営学 ③政治学（行政学を含む）④法学 ・上記4科目の中から、1科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・選択科目の基本文献は後掲参照
		12:00* }	研究計画書に基づく口頭試問
社会人	10:00* }	研究計画書に基づく口頭試問	

※面接及び口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

〈総合政策学専攻選択科目の出題〉

総合政策学専攻の選択科目（英語を除く）は、次の基本文献を前提として出題します。

基本文献

①経済学

齋藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久／著『マクロ経済学』有斐閣、2010年
八田達夫著『ミクロ経済学 Expressway』東洋経済新報社、2013年

②経営学

加護野忠男・吉村典久編著『1からの経営学』中央経済社、2006年
伊丹敬之・加護野忠男著『ゼミナール経営学入門（第3版）』日本経済新聞社、2003年

③政治学（行政学を含む）

堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識 第3版』一藝社、2014年
加藤秀治郎著『政治学 第3版』芦書房、2008年

④法学

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門（第4版）』有斐閣、2005年
石川明編著『法学入門30講（新版）』酒井書店、1996年

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
経済学	一般	10:00 } 12:00	英語 ・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		筆記試験 終了後*	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。
総合政策学	一般	10:00 } 12:00	英語 ・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		12:30* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。

※口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

名古屋キャンパス14号館1階ロビー 9:30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	経済学専攻	総合政策学専攻
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。 	
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。 	
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ① <u>出願前に志望指導教員に連絡をとり面談を受けること</u>。面談後、志望指導教員に「面談年月日」欄の記入・捺印を依頼すること。 ② 「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ③ 「修士論文又は卒業論文」欄は、博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者で卒業論文を作成した者は卒業論文についてその題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。 ※学部卒業者で卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ④ 巻末—経済学・志願書を使用すること。 ⑤ 後掲「教員の研究分野の紹介」を参照し、志望指導教員を選択すること。 ⑥ 博士前期（修士）課程社会人選抜志願者は、在学期間を選択すること。 ※選択した在学期間のいかにかわらず、4年を超えて在学することはできない（長期履修制度については、研究科共通ページ「学費等」参照）。 ⑦ 「入学後の研究計画案」欄は、研究計画を400～500字程度にまとめて記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 	<ol style="list-style-type: none"> ④ 巻末—総合政策学・志願書を使用すること。 ⑤ 後掲「教員の研究分野の紹介」を参照し、志望指導教員を選択すること。 ⑥ 「入学後の研究計画案」欄は、研究計画や研究したい内容を400～500字程度にまとめて記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要 ※社会人選抜及び留学生選抜志願者は、志願書には記入をせず、別紙（2,000～4,000字の範囲内）にまとめて提出すること。

書類名称	経済学専攻	総合政策学専攻
卒業証明書 (含見込)	〈博士前期(修士)課程志願者のみ〉 ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者(含見込)は、その修了(見込)証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。	
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	〈博士後期課程志願者のみ〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。	
成績証明書 (含見込)	〈博士前期(修士)課程志願者〉 ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者(又は修了見込の者)は、その成績証明書も併せて提出すること。 〈博士後期課程志願者〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。	
研究計画書		〈博士前期(修士)課程 社会人選抜及び留学生選抜志願者のみ〉 ・2,000~4,000字の範囲内で記入すること。
論文	〈博士後期課程志願者のみ〉 次の①②を提出すること。 ①修士論文又はこれに代わる業績1部 ②上記の要旨(4,000字程度) ※上記①②いずれもコピー可。返却はしない。	
戸籍抄本等	〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉 ・氏名の変更を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出すること。	

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳	細
日本語の学力に関する書類	・日本語の学力を客観的に証明できる者(指導教員等)が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者(含見込)及び大学院を修了した者(含見込)は提出を免除。	
住民票	・外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。	
身元保証書 【巻末書類】	・ 巻末—身元保証書 を使用すること。 ・保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ・保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。	
パスポートのコピー	・顔写真のページのコピーを提出すること。	

8. 教員組織

経済学研究科長 中山 恵子

経済学専攻

経済学専攻長 中山 恵子

博士前期課程 (修士課程)	職 位	名 前			講義科目
	専任教授	柿	元	純 男★	貿易政策研究
	専任教授	白	井	正 敏★	財政学研究
	専任教授	山	田	光 男	計量経済学研究
	専任教授	中	山	恵 子	ミクロ経済学研究
	専任教授	椿		建 也	経済史研究
	専任教授	近	藤	健 児	国際経済学研究
	専任教授	阿	部	英 樹	経済史研究
	専任教授	釜	田	公 良	経済政策研究
	専任教授	梅	村	清 英★	国際経済学研究
	専任教授	小	林	毅	金融論研究
	専任教授	内	田	俊 博	環境経済学研究
	専任教授	鈴	木	崇 児	都市経済学研究
	専任教授	古	川	雄 一	マクロ経済学研究
	専任准教授	平	澤	誠	経済政策研究
	専任准教授	古	川	章 好	財政学研究
	専任准教授	都	丸	善 央	ミクロ経済学研究
専任准教授	増	田	淳 矢	統計学研究	
専任准教授	吉	野	裕 介	経済学史研究	

博士後期課程	職 位	名 前			専攻分野
	専任教授	柿	元	純 男★	貿易政策
	専任教授	白	井	正 敏★	財政学
	専任教授	山	田	光 男	計量経済学
	専任教授	中	山	恵 子	ミクロ経済学
	専任教授	椿		建 也	西洋経済史
	専任教授	近	藤	健 児	国際経済学
	専任教授	阿	部	英 樹	日本経済史
	専任教授	釜	田	公 良	経済政策
	専任教授	梅	村	清 英★	貿易論
	専任教授	小	林	毅	金融論
	専任教授	内	田	俊 博	環境経済学
	専任教授	鈴	木	崇 児	都市経済学
	専任教授	古	川	雄 一	マクロ経済学
	専任准教授	平	澤	誠	財政政策
	専任准教授	古	川	章 好	地方財政
	専任准教授	都	丸	善 央	産業組織論
専任准教授	増	田	淳 矢	統計学	
専任准教授	吉	野	裕 介	経済学史	

★…指導教員として選択できません。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

総合政策学専攻

総合政策学専攻長 **大 森 達 也**

博士前期課程 (修士課程)	職 位	名 前	講義科目
	専任教授	太 田 真 治	国際マーケティング研究
	専任教授	大 森 達 也	マクロ経済学研究・公共経済学研究
	専任教授	岡 本 祥 浩	都市政策研究
	専任教授	小 山 佳 枝	国際法研究
	専任教授	桑 原 英 明	自治体行政研究
	専任教授	坂 田 隆 文	経営戦略研究
	専任教授	佐 道 明 広	国際政策研究
	専任教授	高 橋 秀 雄	マーケティング研究
	専任教授	竹 田 昌 次	経営管理研究
	専任教授	田 中 讓	消費者政策研究
	専任教授	宮 内 美 穂	ビジネスイノベーション研究
	専任准教授	市 島 宗 典	自治体財政研究
	専任准教授	今 井 良 幸	行政法研究
	専任准教授	佐 藤 茂 春	ミクロ経済学研究
専任准教授	中 村 将 人	非営利組織経営論	

博士後期課程	職 位	名 前	専攻分野
	専任教授	太 田 真 治	国際マーケティング論
	専任教授	大 森 達 也	財政政策論・社会保障論
	専任教授	岡 本 祥 浩	居住福祉論
	専任教授	小 山 佳 枝	国際法
	専任教授	桑 原 英 明	行政学・日本行政論
	専任教授	坂 田 隆 文	マーケティング戦略論
	専任教授	佐 道 明 広	日本政治外交論
	専任教授	高 橋 秀 雄	サービスマーケティング論
	専任教授	竹 田 昌 次	人的資源管理論
	専任教授	田 中 讓	物質経済論
	専任教授	宮 内 美 穂	ソーシャルビジネス研究・ベンチャー企業研究
	専任准教授	市 島 宗 典	政治過程論
	専任准教授	今 井 良 幸	行政法
	専任准教授	佐 藤 茂 春	政治経済学
専任准教授	中 村 将 人	会計史	

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

経営学研究科

経営学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

- 博士前期（修士）課程学内特別選抜については別冊子『**2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項**』（**教学部大学院事務課窓口にて配付**）を参照してください。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）*	入学定員
経営学	経営学	博士前期（修士）	一般・社会人（有験者特別）・学内特別選抜	10名
		博士後期	一般選抜	3名

※同一日程における複数の試験区分の併願不可。

学内特別選抜については別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
社会人選抜（有験者特別）	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の①②の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大学を卒業後15年以上の職業経験を有し、本研究科に入学後、その職業経験に関連した事項について研究を行う予定の者 ②昼間開講科目の履修のみで修了所要単位の取得が可能なる者

博士後期課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

3. 入試日程一覧

日程	課程	試験区分	出願期間 ^{※2}	試験日	可否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3}	入学辞退 手続締切日
			最終日 消印有効			消印有効	必着
前期日程	博士前期 (修士)	一般 社会人 (有験者特別)	2018年 8月27日(月)	2018年 9月29日(土)	2018年 10月9日(火)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
			9月7日(金)				
後期日程	博士前期 (修士)	一般 社会人 (有験者特別)	2019年 1月28日(月)	2019年 2月23日(土)	2019年 3月5日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	
	博士後期 ^{※1}	一般	2月8日(金)				

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

①当日の試験、②出身大学の成績 によって行います。

博士後期課程

①当日の試験、②出身大学院の成績、③研究計画書 によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

試験区分	試験時間	試験科目
一般	10：00 ） 12：00	英語（必須）と専門科目（1問選択） ・専門科目は6問の中から試験当日1問選択。 ・英和辞典1冊持込可（電子辞書又はこれに類する機器の持込は不可）。
	13：00* ）	面接
社会人 （有験者特別）	13：00* ）	面接

※…面接の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

試験区分	試験時間	試験科目
一般	10：00 ） 12：00	英語 ・英和辞典1冊持込可（電子辞書又はこれに類する機器の持込は不可）。
	13：00* ）	面接

※…面接の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

博士前期（修士）課程

一般選抜—————名古屋キャンパス14号館1階 ロビー 9：30集合
社会人（有験者特別）選抜——名古屋キャンパス14号館1階 ロビー 12：30集合

博士後期課程

一般選抜—————名古屋キャンパス14号館1階 ロビー 9：30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ①巻末一経営学・志願書を使用すること。 ②「志望指導教員名」欄は、後掲「教員組織」を参照の上、選択して記入すること。 ※出願前に可能な限り志望指導教員にメール等で連絡をとること。 博士前期（修士）課程…第二志望まで記入 博士後期課程 …第一志望のみ記入 ③「修士論文又は卒業論文」欄は、博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。 ※博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者で卒業論文を作成した者は卒業論文について、その題目と概要を記入（作成途中の場合は予定を記入）。 ※学部卒業者で卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ④「入学後の研究計画案」欄は、博士前期課程（修士）課程志願者のみ記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。
卒業証明書 （含見込）	<p>〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）の者は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 （含見込）	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
職業経験の概要を 記した書類	<p>〈博士前期（修士）課程 社会人（有験者特別）選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業経験の概要を記した書類の提出可（任意）、書式自由。
論文	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <p>次の①②を提出すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①修士論文又はこれに代わる業績 1部 ②上記①の要旨（A4判用紙、2,000字程度） 1部 <p>※上記①②いずれもコピー可。返却はしない。</p>
研究計画書 【巻末書類】	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究科で研究したいテーマ及び研究計画について記述すること（4,000字程度）。 ・書式自由、ただし所定の表紙「巻末一研究計画書」をつけること。
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。さらに、次の①②に該当する者は指定する書類を提出すること。 ①「日本語能力試験 N1 レベル又は 1 級」を受験した者は、成績証明書を必ず提出。 ②「日本留学試験」を受験した者は、受験票を必ず提出（本学が日本学生支援機構へ成績照会が可能な回のうち本人が「日本語」の成績照会を希望する回のもの）。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> 外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前 3 カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> 巻末—身元保証書を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

経営学研究科長 佐藤 祐司

博士前期課程 (修士課程)	専任教授	入江 恭平★	国際金融研究
	専任教授	ハリ ス, R.	国際コミュニケーション研究
	専任教授	中條 秀治	経営組織研究
	専任教授	梅田 守彦	企業会計研究
	専任教授	佐藤 祐司	経営科学研究
	専任教授	浅井 紀子	生産管理研究
	専任教授	向日 恒喜	情報管理研究
	専任教授	銭 佑錫	国際経営研究
	専任教授	山崎 喜代宏★	経営戦略研究
	専任准教授	櫻井 雅充	人的資源管理
	兼任教授	寺岡 寛★	中小企業研究
	兼任教授	中村 雅章★	経営情報研究
	兼任教授	吉田 康英★	簿記原理研究
	兼任教授	中西 眞知子★	マーケティング研究
	兼任教授	永石 信★	国際ビジネス戦略研究
兼任教授	矢部 謙介★	経営財務研究	
兼任教授	川端 勇樹★	経営管理研究	
博士後期課程	専任教授	入江 恭平★	国際金融特殊研究
	専任教授	ハリ ス, R.	国際コミュニケーション特殊研究
	専任教授	中條 秀治	経営組織特殊研究
	専任教授	梅田 守彦	企業会計特殊研究
	専任教授	佐藤 祐司	経営科学特殊研究
	専任教授	浅井 紀子	生産管理特殊研究
	専任教授	向日 恒喜	情報管理特殊研究
	専任教授	銭 佑錫	国際経営特殊研究
	専任教授	山崎 喜代宏★	経営戦略特殊研究

★…指導教員として選択できません。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

工学研究科

設置キャンパス：名古屋

機械システム工学専攻	【修士課程】
電気電子工学専攻	【修士課程】
工学専攻(機械システム工学領域)	【博士後期課程】〈2019年4月開設〉
工学専攻(電気電子工学領域)	【博士後期課程】〈2019年4月開設〉

設置キャンパス：豊田

情報工学専攻	【修士課程】
工学専攻(情報工学領域)	【博士後期課程】〈2019年4月開設〉

- 以下の事項は「[研究科共通ページ](#)」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項(持ち物含む)／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ(集合場所)

- 出願書類(所定用紙)については**巻末**を確認してください。
- 学内特別選抜については別冊子『**2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項**』(教学部大学院事務課窓口にて配付)を参照してください。

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）*	入学定員
工学	機械システム工学	修士課程	一般・学内特別選抜	7名
	電気電子工学	修士課程	一般・学内特別選抜	7名
	情報工学	修士課程	一般・学内特別選抜	8名
	工学 （2019年4月開設）	博士後期課程	一般・社会人・学内特別選抜	4名

※同一日程における複数の試験区分の併願不可。

学内特別選抜については別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

2. 出願資格

修士課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>

博士後期課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時に社会人として2年以上の実務経験を有する者

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※1}		試験日	合否通知 発送日	入学辞退 手続締切日	
				最終日 消印有効	試験日			入学手続締切日 ^{※2} 消印有効	入学辞退 手続締切日 必着
前期日程	機械システム工学	修士	一般	2018年 6月4日(月)) 6月15日(金)	2018年 6月29日(金) ・ 6月30日(土)) 6月30日(土)	2018年 7月13日(金)	【第一次入学手続】 2018年 7月31日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)	
	電気電子工学								
	情報工学								
	工学	博士後期	一般 社会人						
後期日程	機械システム工学	修士	一般	2019年 1月21日(月)) 2月1日(金)	2019年 2月15日(金) ・ 2月16日(土)) 2月16日(土)	2019年 2月26日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)	
	電気電子工学								
	情報工学								
	工学	博士後期	一般 社会人						

※1…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※2…入学手続の概要は以下のとおり。

【第一次入学手続】	入学金の納入のみ
【最終入学手続】	授業料等の納入及び入学手続書類の送付
【入学手続（後期日程）】	入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志願にあたっては、志望指導教員との事前面談が必要です。出願期間前に期日の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等を調整します。

※中京大学工学部生及び工学研究科修士課程生は、直接志望指導教員に連絡を取り面談を受けてください。

4. 選抜方法

修士課程

①当日の試験（筆記試験・口頭試問）、②出身大学の成績、③卒業論文又はこれに代わる業績を記す書類、④研究計画書 によって行います。

博士後期課程

一般選抜——①当日の試験（筆記試験・口頭試問）、②英語（これまでに受験した英語試験結果又は自らが英語で執筆した論文）、③出身大学院の成績、④修士論文又はこれに代わる業績を記す書類、⑤研究計画書 によって行います。

社会人選抜——①当日の試験（口頭試問）、②英語（これまでに受験した英語試験結果又は自らが英語で執筆した論文）、③出身大学院の成績、④修士論文又はこれに代わる業績を記す書類、⑤研究計画書 によって行います。

5. 試験科目・時間等

修士課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
機械システム工学	一般	1日目	10:00 ） 11:30	英語 ・英和辞典1冊持込可（ただし、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 英語試験については、次の①～③を選択し出願時に申請することができる（志願書に記入）。 ①本学が試験当日実施する英語試験（10:00～11:30）のみを受験。 ②これまでに受験した英語試験の結果※を提出（本学にて結果を点数化）。本学が試験当日実施する英語試験を受験しない。 ③本学が試験当日実施する英語試験（10:00～11:30）を受験。さらに、これまでに受験した英語試験結果※を提出（本学にて結果を点数化）。高得点のものを合否判定に使用することを希望。 ※これまでに受験した英語試験は、「TOEIC L&R（IPテスト含む）」「TOEFL iBT」が対象となる。
			13:00 ） 15:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②機械システム ③プログラミング 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学、確率統計学 ②機械システム： 機械力学、機械設計製作、電気・電子回路 ③プログラミング：C言語 ＊すべての分野又は一部の分野から出題。
		2日目	10:00* ）	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・機材・資料等すべて持込みなしの口頭のみで実施する。
電気電子工学	一般	1日目	10:00 ） 11:30	英語 ・英和辞典1冊持込可（ただし、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 英語試験については、次の①～③を選択し出願時に申請することができる（志願書に記入）。 ①本学が試験当日実施する英語試験（10:00～11:30）のみを受験。 ②これまでに受験した英語試験の結果※を提出（本学にて結果を点数化）。本学が試験当日実施する英語試験を受験しない。 ③本学が試験当日実施する英語試験（10:00～11:30）を受験。さらに、これまでに受験した英語試験結果※を提出（本学にて結果を点数化）。高得点のものを合否判定に使用することを希望。 ※これまでに受験した英語試験は、「TOEIC L&R（IPテスト含む）」「TOEFL iBT」が対象となる。

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
電気電子工学	一般	1日目	10:00) 11:30	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②電気・電子回路 ③電磁気学 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学 ②電気・電子回路：科目名が出題範囲を示す ③電磁気学：科目名が出題範囲を示す
		2日目	10:00*)	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。
情報工学	一般	1日目	10:00) 11:30	英語 ・英和辞典1冊持込可（ただし、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 英語試験については、次の①～③を選択し出願時に申請することができる（志願書に記入）。 ①本学が試験当日実施する英語試験（10:00～11:30）のみを受験。 ②これまでに受験した英語試験の結果※を提出（本学にて結果を点数化）。本学が試験当日実施する英語試験を受験しない。 ③本学が試験当日実施する英語試験（10:00～11:30）を受験。さらに、これまでに受験した英語試験結果※を提出（本学にて結果を点数化）。高得点のものを合否判定に使用することを希望。 ※これまでに受験した英語試験は、「TOEIC L&R（IPテスト含む）」「TOEFL iBT」が対象となる。
			13:00) 15:00	専門科目 次の6科目から試験当日3科目選択して解答。 ①数学 ②プログラミング ③データ構造とアルゴリズム ④計算機基礎 ⑤画像処理・CG ⑥メディア応用 【出題範囲】 ①数学：幾何学、線形代数学 ②プログラミング：C言語 ③データ構造とアルゴリズム：科目名が出題範囲を示す ④計算機基礎：アーキテクチャ、デジタル回路 ⑤画像処理・CG：科目名が出題範囲を示す ⑥メディア応用：映像メディア、音響メディア
		2日目	10:00*)	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
工学	一般	10:00) 12:00	専門科目 ・出願時に選択した専門領域から出題。 ・複数問から試験当日1問を選択して解答。
		13:00*))	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。
	社会人	13:00*))	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

修士課程

機械システム工学専攻・電気電子工学専攻

〈1日目：英語を受験する場合、2日目〉

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 9:30集合

〈1日目：英語を受験しない場合〉

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 12:30集合

情報工学専攻

〈1日目：英語を受験する場合、2日目〉

豊田キャンパス11号館1階ロビー 9:30集合

〈1日目：英語を受験しない場合〉

豊田キャンパス11号館1階ロビー 12:30集合

博士後期課程

工学専攻（機械システム工学領域・電気電子工学領域）

〈一般選抜〉

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 9:30集合

〈社会人選抜〉

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 12:30集合

工学専攻（情報工学領域）

〈一般選抜〉

豊田キャンパス11号館1階ロビー 9:30集合

〈社会人選抜〉

豊田キャンパス11号館1階ロビー 12:30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
 - ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
 - ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
 - ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
 - ⑤出願後の出願書類の変更はできません。
 - ⑥志願にあたっては、志望指導教員との事前面談が必要です。出願期間前に余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等を調整します。
- ※中京大学工学部生及び工学研究科修士課程生は、直接志望指導教員に連絡を取り面談を受けてください。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ①巻末一工学・志願書を使用すること（修士課程と博士後期課程で用紙が異なる）。 ②「志望指導教員名」欄は、後掲「教員組織」を参照の上、選択して記入すること。 ③出願前に志望指導教員に連絡を取り面談を受けること。面談後、志望指導教員に「面談年月日」欄の記入・捺印を依頼すること。 ※指導教員は入学確定後に最終決定する。 ④「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ⑤「卒業論文／修士論文又はこれに代わる業績の概要」欄について、出願時点で作成途中の場合は予定を記入すること。※別紙にて提出する場合は記入不要。
卒業証明書 (含見込)	<p>〈修士課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
英語試験結果 (スコア) 又は 英語論文	<p>〈修士課程志願者のみ〉</p> <p>(試験当日実施する英語試験を受験しない場合) 又は (試験当日実施する英語試験を受験するが以下の英語試験結果の点数化を希望する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次のいずれかのスコア票の写しを提出すること（複数の提出も可）。 TOEIC L&R (IPテスト可) / TOEFL iBT <p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <p>(英語試験結果を提出する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次のいずれかのスコア票の写しを提出すること（複数の提出も可）。 TOEIC L&R (IPテスト可) / TOEFL iBT <p>(英語論文を提出する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが英語で執筆した論文の写しを提出すること。 ※英語試験結果及び英語論文の両方の提出可（この場合、高得点のものを合否判定に採用する）。
研究業績目録	<p>〈博士後期課程社会人選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式自由。
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科で研究したいテーマ・内容について記入すること（書式自由）。

書類名称	詳細
論文	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文又はこれに代わる業績を記す書類 ※コピー可。返却はしない。 ※論文が未完の場合は提出不要。 ※本学工学部、情報理工学部、情報科学部、生命システム工学部卒業者（含見込）は提出不要（論文概要は上記「志願書⑤」にあるとおり、提出必須）。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <p>次の①②を提出すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①修士論文又はこれに代わる業績を記す書類 ②学会への投稿論文の別刷り等。 <ul style="list-style-type: none"> ※コピー可。返却はしない。
戸籍抄本等	<p>(証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> 外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> 巻末—身元保証書を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートの コピー	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

工学研究科長 長谷川 純一

機械システム工学専攻

修士課程	専任教授	井口弘和	感性情報処理論セミナー
	専任教授	種田行男	人間工学基礎1
	専任教授	沼田宗敏	機械計測論セミナー
	専任教授	野浪亨	環境材料工学セミナー
	専任教授	橋本学	画像センシング論応用セミナー
	専任教授	森島昭男	メカトロニクス論セミナー
	専任教授	石原彰人	神経情報処理論基礎セミナー
	専任教授	青木公也	画像情報論基礎セミナー
	専任教授	加納政芳	ロボット知能論セミナー
	専任准教授	王建国	生産システム論基礎セミナー
専任准教授	清水優	知能機械開発論基礎セミナー	

電気電子工学専攻

修士課程	専任教授	白井英俊	統計的学習論
	専任教授	上林真司	電波応用工学
	専任教授	山中公博	ハードウェア信頼性工学
	専任教授	磯直行	デジタルシステム設計セミナー
	専任教授	ハルトノ・ピトヨ	技術表現論
	専任教授	高坂拓司	非線形信号処理論
	専任准教授	須田潤	光エレクトロニクスセミナー
	専任准教授	村中崇信	プラズマ工学セミナー
	専任准教授	田口博久	量子力学セミナー
	専任准教授	平名計在	システム制御工学セミナー
専任准教授	青森久	画像工学論	

情報工学専攻

修士課程	専任教授	長谷川純一	画像処理論セミナー
	専任教授	カール・ストーン	音楽情報論セミナー
	専任教授	宮田義郎	コラボレーション論セミナー
	専任教授	長谷川明生	ネットワークコンピューティング論セミナー
	専任教授	濱川礼	ソフトウェア設計論セミナー
	専任教授	伊藤秀昭	データベース論セミナー
	専任教授	ラシキア城治	ソフトウェア開発論セミナー
	専任教授	小笠原秀美	知識情報運用論セミナー
	専任教授	鈴木常彦	情報ネットワーク設計運用論セミナー
	専任教授	大泉和文	インストール・アート論セミナー
	専任教授	宮崎慎也	コンピュータ・グラフィックスセミナー
	専任教授	山田雅之	メディア・インターフェース論セミナー
	専任教授	目加田慶人	パターン認識論セミナー
	専任教授	瀧剛志	可視化シミュレーション論セミナー
	専任准教授	土屋孝文	知識情報処理論セミナー
	専任准教授	上芝智裕	情報デザイン論セミナー
	専任准教授	曾我部哲也	メディア・アート論セミナー
	専任講師	中貴俊	ネットワーク・メディア論セミナー
	専任講師	鬼頭信貴	計算機アーキテクチャ論セミナー
	専任講師	道満恵介	コンピュータ・ビジョンセミナー
専任講師	村田晴美	知識情報処理基礎1	

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

工学専攻機械システム工学領域

博士後期課程	専任教授	井口弘和	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	種田行男	機械システム工学特論Ⅰ
	専任教授	沼田宗敏	機械システム工学特論Ⅰ
	専任教授	野浪亨	機械システム工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	橋本学	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	石原彰人	機械システム工学特論Ⅱ
	専任教授	青木公也	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	加納政芳	機械システム工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ

工学専攻電気電子工学領域

博士後期課程	専任教授	上林真司	電気電子工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	山中公博	電気電子工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	磯直行★	電気電子工学特論Ⅱ
	専任教授	ハルトノ・ピトヨ	電気電子工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	高坂拓司	電気電子工学特論Ⅰ
	専任准教授	須田潤★	電気電子工学特論Ⅰ
	専任准教授	村中崇信★	電気電子工学特論Ⅰ
	専任准教授	田口博久★	電気電子工学特論Ⅰ
	専任准教授	平名計在★	電気電子工学特論Ⅱ
	専任准教授	青森久★	電気電子工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ

工学専攻情報工学領域

博士後期課程	専任教授	長谷川純一	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	宮田義郎	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	長谷川明生★	情報工学特論Ⅰ
	専任教授	伊藤秀昭	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	小笠原秀美★	情報工学特論Ⅰ
	専任教授	大泉和文★	情報工学特論Ⅱ
	専任教授	宮崎慎也	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	山田雅之	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	目加田慶人	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	瀧剛志	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任講師	中貴俊★	情報工学特論Ⅱ
	専任講師	鬼頭信貴★	情報工学特論Ⅰ
	専任講師	道満恵介★	情報工学特論Ⅰ
	専任講師	村田晴美★	情報工学特論Ⅰ

★…指導教員として選択できません。

※上記は2019年4月開設時に予定されている教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

体育学研究科

体育学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

●以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

●出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分*	入学定員
体育学	体育学	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生選抜	12名
		博士後期	一般・留学生選抜	4名

※同一日程における複数の試験区分の併願不可。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時に社会人として3年以上の実務経験を有する者。
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者 <p>※ただし、日本において高等学校段階までの教育を修了した者は、留学生選抜には出願できない。</p>

博士後期課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認められた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者 ※ただし、日本の大学における学部を卒業した者は、留学生選抜には出願できない。</p>

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※1} 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※2} 消印有効	入学辞退 手続締切日 必着
前期日程	体育学	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生	2018年 8月27日(月))	2018年 9月29日(土)	2018年 10月5日(金)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
		博士後期	一般 留学生	9月7日(金)				
後期日程	体育学	博士前期 (修士)	一般 社会人 留学生	2019年 1月21日(月))	2019年 2月16日(土)	2019年 2月22日(金)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	
		博士後期	一般 留学生	2月1日(金)				

※1…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教育学部大学院事務課窓口でも出願を受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教育学部大学院事務課に相談すること。

※2…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志望指導教員と事前に必ず連絡をとってから出願してください。志望する学系（分野）や指導教員の選択にあたって不明な点は、教育学部大学院事務課に問い合わせてください。なお、指導教員は入学確定後に最終決定します。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

一般選抜・留学生選抜——①当日の試験、②出身大学の成績 によって行います。

社会人選抜——①当日の試験、②出身大学の成績、③研究又は学習計画書 によって行います。

博士後期課程

一般選抜・留学生選抜——①当日の試験、②出身大学院の成績、③論文又はこれに代わる業績を記す書類 によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	
体育学	一般	10:00 } 12:00	外国語（英語） ・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可） 【外国語試験の免除について】 次の①～④のいずれかの基準を満たす場合、外国語の試験を免除する。 ※免除希望の場合は、得点を証明できる書類の原本をその他の出願書類とともに提出すること。 ① TOEFL スコア61点以上（iBT 基準）／173点以上（CBT 基準）／500点以上（PBT 基準）のいずれか ② TOEIC L&R スコア650点以上（IP テスト可） ③ IELTS スコア5.5以上 ④英検準1級以上	
		13:00 } 14:40	体育学 ・自由記述形式の問題（15問）のうち試験当日に5問選択して解答。	
		15:00* } 17:00	口頭試問 ・研究計画又は学習計画及び卒業論文を中心とする。	
	社会人	13:00* }	口頭試問 ・研究計画又は学習計画を中心とする。	
	留学生	10:00 } 12:00	外国語（英語又は日本語） ・英語又は日本語のいずれかを出願時に申請し（志願書に記入）、その言語を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・英和辞典1冊及び日韓辞典、日中辞典等1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可） 【外国語試験の免除について】 次の①②のいずれかの試験を2年以内に受験し、①②に記載する基準を満たす場合、外国語の試験を免除する。 ※免除希望の場合は、得点を証明できる書類の原本をその他の出願書類とともに提出すること。 ①日本語能力試験（JLPT）でN1レベル ②日本留学試験（EJU）の日本語のスコア200点以上	
			13:00 } 14:40	体育学 ・自由記述形式の問題（15問）のうち試験当日に2問選択して解答。 ※ただし、日本の大学を卒業した者（含見込）は、試験当日に3問選択して解答すること。
			15:00* } 17:00	口頭試問 ・研究計画又は学習計画及び卒業論文を中心とする。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
体育学	一般	10:00 }	外国語（専門英語） ・体育学の専門分野の論文などを読解する英語能力を試すもの。英文を読み、日本語で答える形式。 ・英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）
		12:00	
		13:00* }	口頭試問 ・研究計画及び修士論文又は既研究概要を中心とする。
	留学生	13:00* }	口頭試問（日本語又は英語） ・研究計画及び修士論文又は既研究概要を中心とする。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

博士前期（修士）課程

一般選抜・留学生選抜——豊田キャンパス14号館1階 ロビー 9:30集合
 〈外国語試験免除の場合〉
 豊田キャンパス14号館1階 ロビー 12:30集合
 社会人選抜——豊田キャンパス14号館1階 ロビー 12:30集合

博士後期課程

一般選抜——豊田キャンパス14号館1階 ロビー 9:30集合
 留学生選抜——豊田キャンパス14号館1階 ロビー 12:30集合

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類（別紙等）はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ①巻末—体育学・志願書を使用すること。 ②志望する指導教員と事前に必ず連絡をとってから出願すること。 志望する学系（分野）や志望指導教員の選択にあたり不明な点は、教学部大学院事務課に問い合わせること（指導教員は入学確定後に最終決定する）。 ③博士前期（修士）課程社会人選抜志願者は、「在学期間」を選択すること。 ※選択した在学期間のいかにかわらず、4年を超えて在学することはできない（長期履修制度については、研究科共通ページ「学費等」参照）。 ④「修士論文又は卒業論文」欄は、博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。なお、博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。 ※別紙（A4判用紙）にて提出する場合は「別紙参照」と明記すること。 ※学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成していない場合はその旨を記入すること。 ⑤「入学後の研究計画案」欄は、別紙（A4判用紙）にて提出する場合は「別紙参照」と明記すること。 ※博士前期（修士）課程社会人選抜志願者は、別紙にて研究計画書又は学習計画書を提出するため記入不要。 ※博士後期課程留学生選抜志願者のみ英語で記入してもよい。
卒業証明書 （含見込）	<p>〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 （含見込）	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
研究計画書又は 学習計画書	<p>〈博士前期（修士）課程社会人選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究科に入学した場合の研究又は学習に関する目標や計画について志望動機等を含め、3,000字程度にまとめたもの 5部 ※出願前に志望する系の教員と研究計画について打合せすることが望ましい。

書類名称	詳細
語学試験証明書	<p>〈博士前期（修士）課程一般選抜・留学生選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語試験の免除を申請する場合は、証明書類の原本を提出すること（コピー不可）。
論文	<p>〈博士後期課程志願者〉</p> <p>①修士論文及びその要旨 各3部 ※要旨は日本語で記述すること。 ※前期日程志願者で修士論文未完の場合は、研究の中間報告書（4,000字程度）3部の提出をもって上記①に代えることができる。</p> <p>②修士論文以外の既刊研究論文を提出する者は、当該論文とその要旨（4,000字程度）各3部を提出しても構わない。 ※上記①②いずれもコピー可。返却はしない。 ※留学生選抜志願者のみ、①②いずれも英語で提出可。</p>
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人登録をしている市役所や区役所で取得できます。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。
身元保証書【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末—身元保証書を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

体育学研究科長 來田 享子

博士前期課程 (修士課程)	スポーツ文化・社会科学系					
	専任教授	近藤	良享	享	★	スポーツ原論研究
	専任教授	菊池	秀夫	夫		スポーツ経営学研究
	専任教授	來田	享子	子		スポーツ史研究
	実験実習助手	伊東	佳那	子	★	
	スポーツ認知・行動科学系					
	専任教授	家田	重晴	晴		健康心理学研究
	専任教授	山田	憲政	政		スポーツ認知行動論研究
	実験実習助手	堀田	義也	也	★	
	スポーツ生理学系					
	専任教授	松本	孝朗	朗		スポーツ栄養学研究
	専任教授	梅村	義久	久		スポーツ生理学研究A
	専任教授	荒牧	勇	勇		スポーツ脳科学研究
	専任講師	大塚	利之	之	★	研究セミナー
	実験実習助手	原田	健次	次	★	
	スポーツ健康科学系					
	専任教授	渡邊	丈眞	眞		スポーツ衛生学研究
	専任教授	坂本	龍雄	雄		疫学研究
	専任教授	清水	卓也	也		スポーツ健康学研究
	専任教授	光山	浩人	人		スポーツ医学研究
	専任准教授	倉持	梨恵	恵	子	機能解剖学研究
	実験実習助手	押村	果奈	奈	★	
	応用スポーツ科学系					
	専任教授	桜井	伸二	二		スポーツバイオメカニクス研究
	専任教授	高橋	繁浩	浩		コンディショニング研究
	専任教授	田内	健二	二		トレーニング論研究
実験実習助手	塚元	佑真	真	★		
博士後期課程	専任教授	家田	重晴	晴		スポーツ認知・行動科学特殊研究・研究指導
	専任教授	近藤	良享	享	★	スポーツ文化・社会科学特殊研究・研究指導
	専任教授	菊池	秀夫	夫		スポーツ文化・社会科学特殊研究・研究指導
	専任教授	渡邊	丈眞	眞		健康科学特殊研究・研究指導
	専任教授	桜井	伸二	二		応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
	専任教授	坂本	龍雄	雄	★	健康科学特殊研究・研究指導
	専任教授	清水	卓也	也		健康科学特殊研究・研究指導
	専任教授	松本	孝朗	朗		スポーツ生理学特殊研究・研究指導
	専任教授	梅村	義久	久		スポーツ生理学特殊研究・研究指導
	専任教授	光山	浩人	人		健康科学特殊研究・研究指導
	専任教授	山田	憲政	政		スポーツ認知・行動科学特殊研究・研究指導
	専任教授	高橋	繁浩	浩		応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
	専任教授	來田	享子	子		スポーツ文化・社会科学特殊研究・研究指導
	専任教授	荒牧	勇	勇		スポーツ生理学特殊研究・研究指導
	専任教授	田内	健二	二		応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
	専任准教授	倉持	梨恵	恵	子	健康科学特殊研究・研究指導

★…指導教員として選択できません。

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

巻末書類

巻末書類のヘッダー	書類名	備考
巻末—身元保証書	身元保証書	外国人留学生のみ提出
巻末—日本文学・日本語文化 ・志願書	文学研究科日本文学・ 日本語文化専攻志願書	志願する研究科（専攻）の 志願書を提出
巻末—歴史文化・志願書	文学研究科歴史文化専攻 志願書	
巻末—国際英語学・志願書	国際英語学研究科志願書	
巻末—心理学・志願書	心理学研究科志願書	
巻末—社会学・志願書	社会学研究科志願書	
巻末—法学・志願書	法学研究科志願書	
巻末—経済学・志願書	経済学研究科経済学専攻 志願書	
巻末—総合政策学・志願書	経済学研究科総合政策学専攻 志願書	
巻末—経営学・志願書	経営学研究科志願書	
巻末—工学（修士課程）・ 志願書	工学（修士課程） 研究科志願書	
巻末—工学（博士後期課程）・ 志願書	工学（博士後期課程）志願書	
巻末—体育学・志願書	体育学研究科志願書	
巻末—研究計画書	経営学研究科研究計画書 （表紙）	

外国人留学生 身元保証書

この身元保証書は、外国人留学生のみ提出すること。

出願研究科・専攻	研究科		専攻	課程 いずれかに○	・博士前期（修士）課程 ・博士後期課程
氏名	フリガナ				
	漢字				
	ローマ字				
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年齢・性別	歳 男・女	国籍	
現住所	〒 TEL() -				

中京大学長 殿

私は上記の者が中京大学大学院留学生として日本に在留中、責任をもって下記事項を保証いたします。

1. 本人が学業に専念するよう監督すること
2. 本人が学費、生活費、帰国旅費及び医療費を支払えないときの負担
3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引き受け

フリガナ
保証人氏名 _____

〒 _____

現住所 _____

電話番号 () - _____ 携帯電話番号 () - _____

職業（詳細に） _____

年収（税込み） _____

本人との関係 _____

日付（西暦） 年 月 日 署名 _____ (印)

保証人は日本に居住し、独立して生計を営んでいる者で、在学期間中の本人に関する全ての事項について保証できる者とする（日本国籍を有していなくても可）。

志 願 書

文学 研究科 日本文学・日本語文化 専攻		大学記入	
課 程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程・博士後期課程	博士前期課程 試験区分 (○で囲む)	一般・社会人・ 留学生・学内特別
選 択 科 目 (番号を記入)	博士前期課程 (修士課程)	専門科目 ●専攻の科目() ●左記以外の任意の科目() ①上代 ②中古 ③中世 ④近世 ⑤近代 ⑥比較文学(日中) ⑦書学 ⑧出版論 ⑨日本語史 ⑩現代日本語 ※一般選抜及び社会人選抜志願者は専攻の1科目と専攻以外の任意の科目1科目を選択すること。 ※留学生選抜志願者は専攻の1科目のみ選択すること。 ※学内特別選抜志願者は記入不要。	
	博士後期課程	●専門科目() ①日本文学 ②日本語文化 ③日本語学 ●外国語() ①英語 ②漢文 ③資料解読 ※専門科目・外国語とも1科目を選択すること。	
志望指導教員 出願承諾印		(博士前期課程志願者のみ記入) 氏名 _____ (印) ※志望指導教員が記入し捺印すること。 ※学内特別選抜志願者は記入不要。	
氏 名	フリガナ _____	生年 月 日	1 9 年 月 日生 () 歳
		性別	男 ・ 女
現住所 (連絡先)	〒 _____ TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :		写 真 貼 付 欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
帰省先	〒 _____ TEL() -		
外国人のみ 記入	国 籍	出願時の在留資格 入学後の在留資格 (予定)	
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。	
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
推 薦 書			
	推薦者職・氏名 _____ (印)		

注：一般選抜及び留学生選抜志願者は推薦書の記入は任意、中京大学出身者及び社会人選抜志願者は推薦書の記入不要。

キ
リ
ト
リ

氏名

大学記入

修 士 論 文	題目： _____
	概要：

注：博士前期（修士）課程修了者のみ修士論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。

入 学 後 の 研 究 計 画	研究題目：

注：博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。

志 願 書

文学 研究科 歴史文化 専攻 修士課程				大学記入		
試験区分 (○で囲む)		一般選抜 ・ 社会人選抜 ・ 留学生選抜 ・ 学内特別選抜				
選択科目		専門科目：番号を記入 ●専攻の科目() ●左記以外の任意の科目() ①古代史 ②中世史(織豊期含む) ③近世史 ④近現代史 ⑤思想史 ⑥民俗学				
		いずれかを○で囲む 英語 ・ 古文書(くずし字)読解				
志望指導教員 出願承諾印		氏名 _____ ⑩		※志望指導教員が記入し捺印すること。		
氏名	フリガナ	生年 月日	1 9 年 月 日生 () 歳	写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm		
		性別	男 ・ 女			
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :					
帰省先	〒 TEL() -					
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格				
		入学後の在留資格 (予定)				
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。				
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
推 薦 書						
	推薦者職・氏名 _____ ⑩					

注：一般選抜及び留学生選抜志願者は推薦書の記入は任意、中京大学出身者及び社会人選抜志願者は推薦書の記入不要。

キ
リ
ト
リ

氏名 _____

大学記入

研究題目：

入
学
後
の
研
究
計
画

注：別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

国際英語学 研究科		専攻		大学記入	
課 程		修 士 課 程		入 学 期	
				2019年度 春学期	
氏 名	フリガナ		生年 月日	1 9	年
					月
			性別	男 ・ 女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :		写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm		
帰省先	〒 TEL() -				
外国人のみ 記入	国 籍	出願時の在留資格			
		入学後の在留資格 (予定)			
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

大学記入

氏名 _____

卒業論文又は修士論文	題目：
	概要：

- 注：① 概要は400字程度で記入すること。作成途中の場合は、予定を記入すること。
 ② 【国際英語学専攻】学部卒業者(卒業見込者)で卒業論文を作成してない場合は、その旨を記入すること。
 ③ 【英米文化学専攻】学部卒業者(卒業見込者)で卒業論文を作成してない場合は、研究計画書を提出すること。
 ④ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案	研究題目：

- 注：① 国際英語学専攻志願者のみ400字程度で記入すること。
 ② 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

専攻 (○を付す)	() 実験・応用心理学専攻 () 臨床・発達心理学専攻	大学記入	
課程 (○を付す)	() 博士前期(修士)課程 () 博士後期課程	博士前期課程 試験区分 (○を付す)	() 一般選抜 () 社会人選抜
志望する 専門領域 (○を付す)	() 実験心理学・() 応用心理学・() 臨床心理学・() 発達心理学 ※同一専攻であれば二つまで選択できる。 ※1領域のみならば○を、2領域いずれでもよいとする場合は志望順位1・2を()内に記入する。 ただし、博士前期(修士)課程の場合、臨床心理学領域への受入は第1志望の者に限る。		
氏名	フリガナ	生年月日	19 年 月 日生 () 歳
		性別	男 ・ 女
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :		写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
帰省先	〒 TEL() -		
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格	
		入学後の在留資格 (予定)	
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。	
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
学部・大学院在学時 指導教員名			

キ
リ
ト
リ

氏名

大学記入

修士論文又は
卒業論文の題目

- 注：① 博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者は卒業論文について、その題目を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入）。
② 学部卒業者（卒業見込者）で、卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入すること。

研究題目：

入
学
後
の
研
究
計
画
案

- 注：① 博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。
② 博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため記入不要。
③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

社会学 研究科		社会学 専攻		大学記入	
課 程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程・博士後期課程			試験区分 (○で囲む)	一般選抜・留学生選抜
				受験する 外国語科目 (○で囲む)	(留学生選抜志願者のみ記入) 英 語 ・ 日 本 語
志望専門 (専攻)分野				志望指導 教 員 名	
氏 名	フリガナ		生年 月 日	1 9 年	月 日生 () 歳
			性別	男 ・ 女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス:				写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
帰省先	〒 TEL() -				
外国人のみ 記入	国 籍		出願時の在留資格		
			入学後の在留資格 (予定)		
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込みまで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもしもなく記入すること。			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

氏名

修士論文又は卒業論文	題目：
	概要：

注：① 博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入）。
 ② 学部卒業者（卒業見込者）で、卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入すること。
 ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案	研究題目：

注：① 博士前期（修士）課程志願者のみ、400字～500字程度にまとめて記入すること。
 ② 博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため記入不要。
 ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

法 学 研究科		法 律 学 専攻		大学記入	
課 程 (○で囲む)	博士前期 (修士) 課程 ・ 博士後期課程			志 望 専 門 科 目	
試験区分 (○で囲む)	一 般 ・ 社会人 ・ 学内特別 ・ 留学生				
在学期間 社会人選抜のみ (○で囲む)	2 年 ・ 3 年 ・ 4 年			志 望 指 導 教 員 名	
博 士 前 期 課 程 の み コースの選択 (○で囲む)	・ 研 究 コ ー ス ・ 専 門 コ ー ス	外 国 語 又 は 論 文 科 目 で 受 験 す 目	博 士 前 期 課 程 一 次 試 験	一般選抜 【研究コース】	外国語 1 科目 ()
				一般選抜 【専門コース】	外国語又は論文科目 1 科目 ()
			博 士 後 期 課 程		外国語 2 科目 () ()
氏 名	フリガナ		生年 月 日	1 9 年 月 日生 () 歳	
			性別	男 ・ 女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mailアドレス:				写 真 貼 付 欄 注) 3 カ月以内に 撮影したもの 注) 縦 4 cm × 横 3 cm
帰省先	〒 TEL() -				
外国人のみ 記入	国 籍	出願時の在留資格			
		入学後の在留資格 (予定)			
履 歴 事 項	年 (西暦) ・ 月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)または卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

氏名

大学記入

題目：

概要：

修士論文又は卒業論文

- 注：① 博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入）。
- ② 学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入すること。
- ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案

- 注：① 博士前期（修士）課程一般選抜及び留学生選抜志願者のみ、400字～500字程度にまとめて記入すること。
- ② 博士前期（修士）課程社会人選抜及び学内特別選抜志願者、博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため記入不要。
- ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

経済学専攻 志願書

入学期 (○で囲む)	2019年度春学期	課程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程 ・ 博士後期課程	大学記入
試験区分 (○で囲む)	(博士前期課程志願者のみ記入) 一般・社会人・税理士・留学生・学内特別		志望する 専攻分野	
在学期間 (○で囲む)	(博士前期課程社会人選抜志願者のみ記入) 2年 ・ 3年		志望指導 教員名	
選択科目〈2科目選択〉 (○で囲む)	(博士前期課程「一般選抜」志願者のみ記入、2科目選択すること) ①ミクロ経済学 ②マクロ経済学 ③志望する専攻分野の科目 *筆記試験は上記2科目の他「英語」を含む			
志望指導教員 との面談年月日 ※志願者全員記入要	年 月 日 ㊟			
志望指導教員 受入承諾印	(博士前期課程「学内特別選抜」志願者のみ記入) 氏名 _____ ㊟			
氏名	フリガナ _____	生年月日	19 年 月 日生 () 歳	写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
		性別	男 ・ 女	
現住所 (連絡先)	〒 _____ TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :			
帰省先	〒 _____ TEL() -			
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格	入学後の在留資格 (予定)	
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。		
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			

キ
リ
ト
リ

氏名

修士論文又は卒業論文	題目：
	概要：

- 注：① 博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入）。
 ② 学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成してない場合は、その旨を記入すること。
 ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案	

- 注：① 400字～500字程度にまとめて記入すること。
 ② 別紙にて提出する場合は記入不要。

総合政策学専攻 志 願 書

経済学 研究科		総合政策学 専攻		大学記入	
課程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程・博士後期課程			試験区分 (○で囲む)	(博士前期課程志願者のみ記入) 一般・留学生・社会人・学内特別
選択科目 (○で囲む)	(博士前期課程「一般選抜」志願者のみ記入、2科目選択すること) ①経済学 ②経営学 ③政治学(行政学を含む) ④法学 ⑤英語 (博士前期課程「留学生選抜」志願者のみ記入、1科目選択すること) ①経済学 ②経営学 ③政治学(行政学を含む) ④法学				
志望指導教員名			志望指導教員 受入承諾印	(博士前期課程学内特別選抜志願者のみ記入) 氏名 _____ (印) *志望指導教員が記入し捺印すること	
志望指導教員との 面談年月日 ※志願者全員記入要	_____年 _____月 _____日 (印)			*志望指導教員が記入し捺印すること	
氏名	フリガナ	生年月日	19 _____年 _____月 _____日生 () 歳	性別	男・女
現住所 (連絡先)	〒 _____ TEL() - _____ 携帯TEL() - _____ E-mail アドレス: _____				写真貼付欄 注)3カ月以内に撮影したもの 注)縦4cm×横3cm
帰省先	〒 _____ TEL() - _____				
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格		入学後の在留資格 (予定)	
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込みまで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

氏名 _____

修士論文又は卒業論文	題目：
	概要：

注：① 博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入）。

② 学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成してない場合は、その旨を記入すること。

③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案	

注：① 博士前期課程一般選抜及び学内特別選抜志願者・博士後期課程志願者は400字～500字程度にまとめて記入すること。

② 博士前期課程社会人選抜及び留学生選抜志願者は別紙（A4判用紙、2,000字～4,000字の範囲内）にて研究計画書を提出するため記入不要。

③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

経営学 研究科		経営学 専攻		大学記入	
課程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程・博士後期課程			志望指導 教員名	第一志望
試験区分 (○で囲む)	(博士前期課程志願者のみ記入) 一般選抜・社会人選抜・学内特別選抜				第二志望 注)博士前期課程のみ必ず記入
氏名	フリガナ		生年 月日	19 年 月 日生 () 歳	写真貼付欄 注)3カ月以内に 撮影したもの 注)縦4cm×横3cm
			性別	男・女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス:				
帰省先	〒 TEL() -				
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格			
		入学後の在留資格 (予定)			
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 *学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

大学記入

氏名

修士論文又は卒業論文	題目：
	概要：

- 注：① 博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。
 ② 博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること。論文未完の場合は、出願時点において予定している題目および概要を記入すること。
 ③ 学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成してない場合は、その旨を記入すること。
 ④ 別紙にて提出する場合は記入不要。

入学後の研究計画案	研究題目：

- 注：① 博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。
 ② 博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため記入不要。
 ③ 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

専攻 (○を付す)	() 機械システム工学専攻 修士課程 () 電気電子工学専攻 修士課程 () 情報工学専攻 修士課程	大学記入	
試験区分 (○を付す)	() 一般選抜 () 学内特別選抜	志望指導教員名	
志望指導教員との 面談年月日	(志願者全員記入) 年 月 日 ⑩ *志望指導教員が記入し捺印すること	志望指導教員 受入承諾印	(学内特別選抜志願者のみ記入) 氏名 _____ ⑩ *志望指導教員が記入し捺印すること
一般選抜 英語試験選択 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> 本学が試験当日実施する英語試験のみを受験。 <input type="checkbox"/> これまで受験した英語試験の結果を提出。本学が試験当日実施する英語試験は受験しない。 <input type="checkbox"/> 本学が試験当日実施する英語試験を受験。さらに、これまでに受験した英語試験結果を提出。高得点のものを合否判定に使用することを希望。		
氏名	フリガナ _____	生年 月 日	19 年 月 日生 () 歳
		性別	男 ・ 女
現住所 (連絡先)	〒 _____ TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :		写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
帰省先	〒 _____ TEL() -		
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格	
		入学後の在留資格 (予定)	
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項	*学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもしなく記入すること。
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		

キ
リ
ト
リ

氏名

題目：

概要：

卒業論文又はこれに代わる業績の概要

注：① 作成途中の場合は、予定を記入すること。
② 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

専攻領域 (○を付す)	() 工学専攻 機械システム工学領域 () 工学専攻 電気電子工学領域 () 工学専攻 情報工学領域	大学記入	
試験区分 (○を付す)	() 一般選抜 () 社会人選抜 () 学内特別選抜	志望指導教員名	
志望指導教員との 面談年月日	(志願者全員記入) 年 月 日 ㊟ *志望指導教員が記入し捺印すること	志望指導教員 受入承諾印	(学内特別選抜志願者のみ記入) 氏名 _____ ㊟ *志望指導教員が記入し捺印すること
氏名	フリガナ _____ _____	生年月日	19 年 月 日生 () 歳
		性別	男 ・ 女
現住所 (連絡先)	〒 _____ TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス :		写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
帰省先	〒 _____ TEL() -		
外国人のみ 記入	国籍	出願時の在留資格	
		入学後の在留資格 (予定)	
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項	*学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		

キ
リ
ト
リ

氏名

題目：

概要：

修士論文又はこれに代わる業績の概要

注：① 作成途中の場合は、予定を記入すること。
② 別紙にて提出する場合は記入不要。

志 願 書

体 育 学 研 究 科		体 育 学 専 攻		大学記入	
課 程 (○で囲む)	博士前期(修士)課程・博士後期課程			志望する分野	学系
試験区分 (○で囲む)	一 般 ・ 社 会 人 ・ 留 学 生			志望指導教員名	
在学期間 (○で囲む)	(博士前期課程社会人選抜志願者のみ記入) 2 年 ・ 3 年			受験する 外国語 (○で囲む)	(博士前期課程留学生選抜志願者のみ記入) 英 語 ・ 日 本 語
氏 名	フリガナ		生年 月 日	1 9 年 月 日生 () 歳	写真貼付欄 注) 3 カ月以内に 撮影したもの 注) 縦 4 cm × 横 3 cm
			性別	男 ・ 女	
現住所 (連絡先)	〒 TEL() - 携帯TEL() - E-mail アドレス:				
帰省先	〒 TEL() -				
外国人のみ 記入	国 籍	出願時の在留資格			
		入学後の在留資格 (予定)			
履 歴 事 項	年(西暦)・月	事項 <small>*学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)又は卒業(修了)見込まで入学年も含めて記入すること、また職歴も記入すること。 *日本在住の外国人留学生は、来日後の経歴をもれなく記入すること。</small>			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

キ
リ
ト
リ

氏名

大学記入

題目：

概要：

修士論文又は卒業論文

- 注：① 博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。
② 博士前期（修士）課程修了者（修了見込者）は修士論文について、学部卒業者（卒業見込者）は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は、予定を記入）。
③ 学部卒業者（卒業見込者）で卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入すること。
④ 別紙（A4判用紙）での提出も可。その場合「別紙参照」と明記すること。

研究題目：

入学後の研究計画案

- 注：① 別紙（A4判用紙）での提出も可。その場合「別紙参照」と明記すること。
② 博士前期課程社会人選抜志願者は別に研究計画書もしくは学習計画書（3,000字程度）を作成し、提出するので記入は不要。
③ 博士後期課程留学生選抜志願者のみ、英語で記入してもよい。

大学記入

研究計画書

キ
リ
ト
リ
(紐で綴ること)

研究テーマ	
フリガナ	
氏 名	

入試に関する問い合わせ

中京大学 教学部大学院事務課

TEL (052) 835-9863 〈受付時間〉 平日 9 : 00~17 : 00

E-mail gs-office@mng.chukyo-u.ac.jp

名古屋キャンパス

文学研究科・国際英語学研究科・心理学研究科・法学研究科・経済学研究科・経営学研究科
工学研究科（機械システム工学専攻・電気電子工学専攻・工学専攻）*

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

豊田キャンパス

社会学研究科・体育学研究科・工学研究科（情報工学専攻・工学専攻）*

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

※工学研究科博士後期課程は研究の領域により通学するキャンパスが異なります。

★このパンフレットは2018年5月現在に確認できる内容に基づいて作成しています。専任教員等変更の可能性がります。